

取付説明書

RACEN ATX対応ピラーレスPCケース

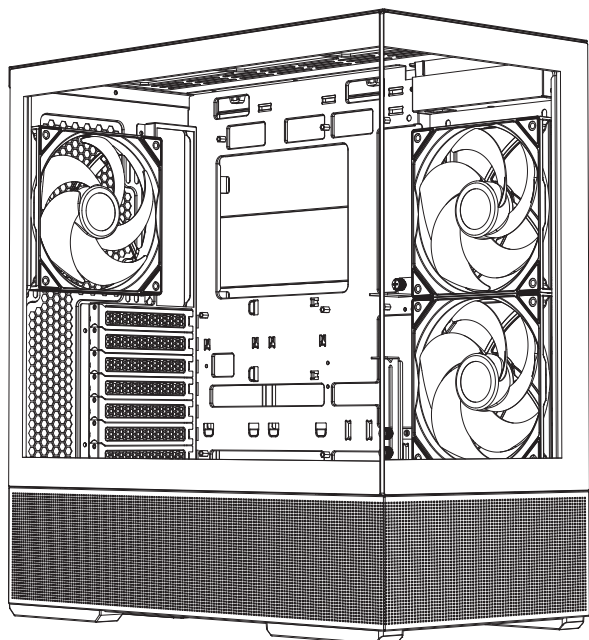
AQCESS

アクセス

型番

CRC-PCASE01BK

CRC-PCASE01WH



このたびは本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書には、重要な注意事項や本製品の取り扱い方法が記載されています。

ご使用になる前に本書をよくお読みのうえ、本製品を正しく安全にお使いください。

また、お読みになったあとも大切に保管し、必要に応じてご利用ください。

**本書の内容が
【動画】でご覧になれます**

スマートフォンのQRコードリーダーで
ページ下部の【QRコード】を読み込んでください。





安全上のご注意 (必ずお読みください)

○ご使用の前に、安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。










○この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への肉体的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解のうえ、守っていただくようお願いいたします。

■次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を示します。

	警告 この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性を想定した内容を示します。
	注意 この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害ないし物的損害を負う可能性を想定した内容を示します。

	注意指示事項
	分解禁止
	水濡れ禁止
	接触禁止
	禁止(禁止行為)
	濡れた手での接触禁止
	電源プラグを抜く
	けがに注意

警告

	煙が出る、異臭がする、異音がある場合は使用しない 煙が出る、異臭がする、異音があるときは、すぐに機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社サポートセンターまでご連絡ください。 異常状態のまま使用すると、故障、火災、感電の原因となります。
	機器の分解、改造をしない 機器の分解、改造をしないでください。 内部に手を触れると、故障、火災、感電の原因となります。 点検、調整、修理は、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
	機器の内部に異物や水を入れない 機器の内部に異物や水が入った場合は、すぐに機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社サポートセンターまでご連絡ください。 異物が入ったまま使用すると、故障、火災、感電の原因となります。
	不安定な場所に機器を置かない ぐらついた台の上や傾いた場所、不安定な場所に機器を置かないでください。 落ちたり、倒れたりして、故障、けがの原因になることがあります。
	電源の指定許容範囲を超えて使わない 機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。 定格を越えた電圧での使用は、故障、火災、感電の原因となります。
	電源ケーブル、接続ケーブルに関する注意事項 以下の注意点を守ってご使用ください。 被膜が損傷したり、故障を招くだけでなく、ショートや断線で加熱して、火災、感電の原因になることがあります。 ●各ケーブルを無理に曲げる、ねじる、束ねる、はさむ、引っ張るなどの行為をしないでください。 ●ケーブルの上に機器本体や重い物を置かないでください。 ●ステープル、釘などで固定しないでください。 ●足を引っかけるおそれのある場所には設置しないでください。 ●電源プラグはホコリや水滴がついていないことを確認し、根元までしっかり差し込んでください。 ●ぐらぐらするコンセントには接続しないでください。 ●各ケーブルやコネクタに負担をかけるような場所に設置しないでください。 ●電源ケーブルは必ず伸ばした状態で使用してください。 丸めたり束ねた状態で通電させると、加熱して火災の原因となります。
	雷が鳴り出したら機器に触れない 雷が発生しそうときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。 また、雷が鳴りだしたら電源コードやケーブル、機器に触れないでください。感電の原因となります。
	ぬれた手で機器に触れない ぬれたままの手で機器に触れないでください。 感電や故障の原因になります。
	体に異変が出たら使用しない 体に異変が出た場合は、ただちに使用をやめて、医師にご相談ください。 機器に使用されている塗料や金属などによって、かゆみやアレルギーなどの症状が引き起こされることがあります。

⚠ 注意

	<p>設置場所に関する注意事項</p> <p>以下のような場所には機器を置かないでください。 故障、火災、感電の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 台所、ガスレンジ、フライヤーの近くなど油煙がつきやすいところ ● 浴室、温室、台所など、湿度の高いところ、雨や水しぶきがかかるところ ● 本製品の製品仕様から外れる温度、湿度になる場所 ● 火花があたるところや、高温の熱源、炎が近いところ ● 有機溶剤を使用しているところ、腐食性ガスのあるところ、潮風があたるところ ● 金属粉、研削材、小麦粉、化学調味料、紙屑、木材チップ、セメントなどの粉塵、ほこりが多いところ ● 機械加工工場など、切削油または研削油が立ち込める場所 ● 食品工場、調理場など、油、酢、揮発したアルコールが立ち込める場所 ● 直射日光があたるところ ● シャボン玉やスモークなどの演出装置のある場所 ● お香、アロマオイルなどを頻りに焚く場所
	<p>各コネクタや本体を定期的に清掃する</p> <p>ACケーブルや各コネクタにホコリなどが溜まると火災の原因となることがあります。 定期的に各コネクタを取り外し、電源プラグをコンセントから抜いてゴミやホコリを乾いた布で取り除いてください。</p>
	<p>長期間使用しない場合は接続コードを外してください</p> <p>長期間使用しない場合は、安全および節電のため、接続コードを外して保管してください。</p>
	<p>機器を移動するときは接続コード類をすべて外してください</p> <p>移動する際は、必ず接続コードを外して行ってください。 接続したままの移動は故障の原因となります。</p>
 	<p>小さいお子様を近づけない</p> <p>小さいお子様を機器に近づけないようにしてください。 小さな部品の誤飲や、お子様が機器に乗ってしまうなど、けがの原因になることがあります。</p>
	<p>静電気にご注意ください</p> <p>機器に触れる際は、静電気にご注意ください。 本製品は精密電子機器ですので、静電気を与えると誤動作や故障の原因となります。機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。 定格を越えた電圧での使用は、故障、火災、感電の原因となります。</p>
	<p>熱にご注意ください</p> <p>使用状況により、本体外面、通風孔周辺などが高温になることがあります。 通風孔からの風に当たっていたり、熱を持った部分に触れていることで、やけどを起こすことがありますのでご注意ください。 また、製品の近くにビニール皮膜や樹脂などの熱に弱い物を置かないでください。 変形、変質、変色などの影響が出る場合があります。</p>
	<p>製品に通風孔やスリットがある場合、ふさがないでください</p> <p>吸排気が妨げられることにより加熱による火災、故障の原因となる場合があります。</p>

制限事項

- 本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、軍事設備、輸送設備など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。
このような設備や機器、システムなどの使用によって損害があっても弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品は日本国内のご家庭での使用を前提としております。
日本国外での使用や、特殊な工場内での使用、AC100Vとは異なる電圧下で動作させた場合の責任は負いかねます。
- 構成部品内にゴムを含む場合、長時間同じ場所に置くと、設置面に変色・変質を起こすことがあります。
また、経年劣化(加水分解)によりゴム面がべたつく場合があります。

強化ガラスのご注意



本製品はパネルの一部に強化ガラスを使用しております。
使用に関して以下の記載事項にご注意ください。

強化ガラスの特性

- 強化ガラスは割れにくいガラスですが、割れないガラスではありません。
- 振動や衝撃、急激な加熱や冷却などを加えると、傷がついたり割れたりすることがあります。
- ガラス面に傷や欠けが発生した場合、そのまま使わず破棄してください。
- 割れてしまった場合、細かい破片が周囲に飛び散ることがあります。
鋭利な破片が生じる場合もありますので、けがをしないように注意して各地方自治体指定の方法で破棄してください。

取り付け前の確認事項



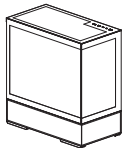
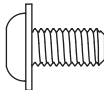
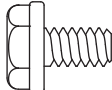



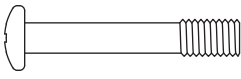
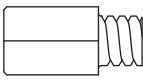
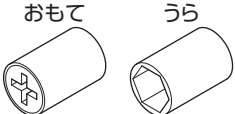
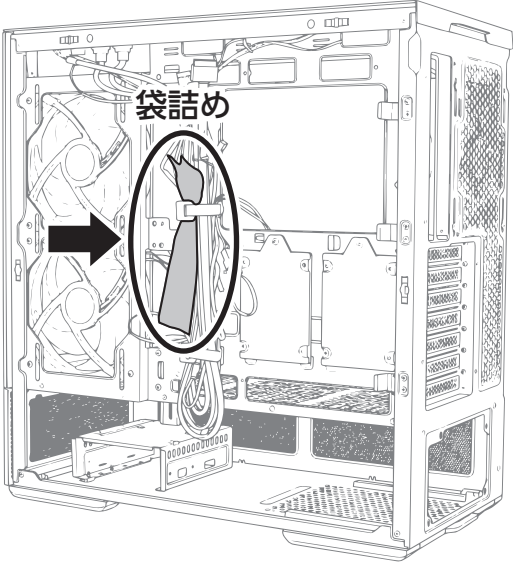
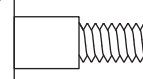



- 本製品にPCパーツを取り付ける前に、製品内容の欠品や形状不良等がないことを必ず確認してください。
欠品や形状不良等があった場合、作業をせずに弊社サポートセンター(➡P.39)までご連絡をお願いいたします。
- 本製品をご使用になることでPCパーツや各ケーブル、机等に傷や変色が生じる場合があります。
あらかじめご了承ください。

作業をする前に



取り付けについて分かりにくい部分がありましたら、作業をする前に弊社サポートセンター(➡P.39)までお問い合わせをお願いいたします。

章	ページ	項目	主な内容
はじめの章	2	安全上のご注意 【制限事項】【強化ガラスのご注意】【取り付け前の確認事項】【作業をする前に】	本製品を安全に長くご使用いただくうえでの、禁止事項や注意事項を説明します。
	4	もくじ	このページです。
	5	製品内容 【作業に必要な工具類】	本製品の製品内容や作業に必要な工具類を説明します。
	6	製品仕様 【寸法図】	本製品に取り付けできるPCパーツの規格や寸法などを表形式で説明します。
	8	全般的なご注意 【本体を持ち上げる際のご注意】【設置時のご注意】 【製造上の加工処理について】【各部品や各ケーブルの接続について】	本製品をご使用いただくうえでの、全般的な注意を説明します。
	10	各部の名称 【作業に必要な工具類】	本製品の各部の名称について説明します。
取り付けの章	12	各パネルを取り外す	本製品の各パネルの取り外しかたを説明します。
	14	電源ユニットを取り付ける ※	電源ユニットの取り付けかたを説明します。
	16	マザーボードを取り付ける ※	マザーボードの取り付けかたを説明します。
	18	ストレージを取り付ける ※	3.5インチHDD、2.5インチHDD/SSDの取り付けかたを説明します。
	20	ビデオカードを取り付ける ※	ビデオカードの取り付けかたを説明します。
	22	各配線の接続と結束 【マザーボード】【ストレージ】【ビデオカード】 【冷却ファン】【本体端子】【背面結束(裏配線)】	各PCパーツのコネクタ接続とケーブル類の結束のしかたを説明します。
	26	PCパーツを増設する 【2.5インチHDD/SSDを増設する】【冷却ファンを増設する】 【簡易水冷ファンを増設する】	冷却ファンの増設や簡易水冷ファンの取り付けかたを説明します。
	14~20	※組み込むPCパーツによって取り付ける順番が変わる場合があります。 各PCパーツの取扱説明書もご確認のうえ、最適な順序で取り付けを行ってください。	
おわりの章	31	その他 【デバイスラックネジ+ゴムブッシュの交換方法】【スペーサーの交換方法】 【パネルキャッチャーの交換方法】【お手入れについて】	予備部品の交換方法や本製品のお手入れ方法について説明します。
	34	困ったときは 【トラブルシューティング】【FAQ(よくある質問とその回答)】	困ったときの症状やその処置、よくある質問とその回答を紹介します。
	39	サポート・保証規定	弊社サポートセンターのご案内です。

<p>取り付けを始める前に、次の内容物がすべてそろっているかご確認ください。</p> <p>※②～⑫の部品(袋詰め)は、側面スチールパネルの内側にケーブル類と一緒に固定されています。(右下図参照)</p>		<p>1</p>  <p>本体</p>	<p>2</p>  <p>ミリネジ(M3x4.5mm) x16</p>	<p>3</p>  <p>インチネジ大(5mm) x6</p>
<p>4</p>  <p>インチネジ小(4.5mm) x8</p>	<p>5</p>  <p>結束バンド x10</p>	<p>6</p>  <p>面ファスナー x3</p>	<p>7</p>  <p>下段冷却ファン取付用ネジ(28mm) x12</p>	
<p>8</p>  <p>スペーサー x3(予備)</p> <p>詳細 →P.31</p>	<p>9</p>  <p>スペーサーソケット x1</p> <p>詳細 →P.31</p>	<p>側面スチールパネル内側</p>  <p>袋詰め</p>		
<p>10</p>  <p>デバイ斯拉ックネジ x3(予備)</p> <p>詳細 →P.31</p>	<p>11</p>  <p>ゴムプッシュ x3(予備)</p> <p>詳細 →P.31</p>			
<p>12</p>  <p>パネルキャッチャー x2(予備)</p> <p>詳細 →P.32</p>	<p>13</p>  <p>取付説明書/保証書 (本書)</p>			

パネル

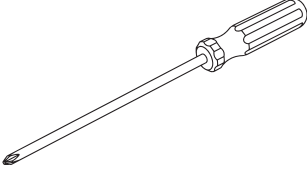
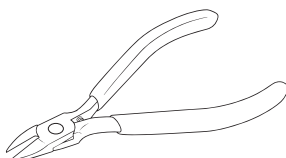
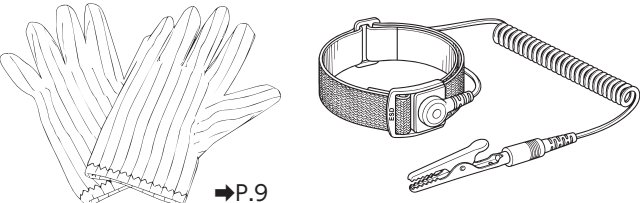
電源ユニット

マザーボード

ストレージ

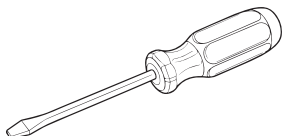
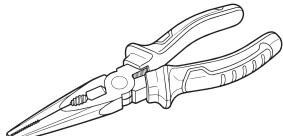
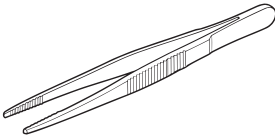
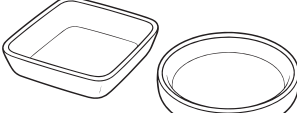
ビデオカード

作業に必要な工具類

<p>プラスドライバー(#2)</p>  <p>※軸が長いもの(25cm~)を使うと作業がしやすいです。</p>	<p>ニッパー</p>  <p>※模型用のニッパーを使うと、結束バンドがカットしやすいです。</p>	<p>静電防止手袋 または 静電防止リストラップ(アースバンド)</p>  <p>→P.9</p>
--	---	---

配線接続・結束

ほかにあると便利な工具類

<p>■マイナスドライバー</p>  <p>せまい場所のコネクタ差し込みやパネルキャッチャーの交換に</p>	<p>■ラジオペンチ</p>  <p>結束バンドの引き締めやパネルキャッチャーの交換に</p>	<p>■ピンセット</p>  <p>ネジの固定やケーブルの仕分け・整理に</p>	<p>■小皿・トレイ</p>  <p>ネジの混在予防や紛失防止に</p>
---	--	--	---

PCパーツの増設

商品名	RACEN ATX対応ピラーレスPCケース AQCESS
型番	CRC-PCASE01BK(ブラック) CRC-PCASE01WH(ホワイト)
対応マザーボード	ATX / Micro-ATX / Mini-ITX
対応電源ユニット	ATX
インターフェイス	■USB Type-C(USB 3.2 Gen1) x1 ■USB Type-A(USB 3.2 Gen1) x2 ■φ3.5mmオーディオジャック x1
対応CPUクーラー高さ	最大 180mm
対応電源ユニット長さ	最大 240mm
対応ビデオカード長さ	最大 420mm ※この寸法範囲内でも、補助電源ケーブルの取り回し等で取り付けできない場合があります。ご注意ください。

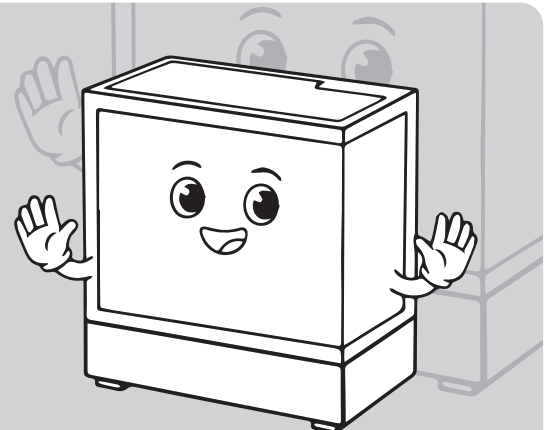
搭載可能ドライブ数(非混載時)	■3.5インチHDD：最大2台 ■2.5インチHDD/SSD：最大6台
拡張スロット用ブラケット数	7
標準搭載ファン	■側面：140mm x2 (リバースファン) ■背面：140mm x1 ※アドレスサブルRGBIに対応。
搭載可能ファン数(標準搭載ファン含む)	■上面：120mm x3 または 140mm x2 ■側面：120mm x2 または 140mm x2 ■背面：120mm x1 または 140mm x1 ■下段：120mm(厚さ25mmのもの) x3
本体寸法(約)	幅235 x 奥行447 x 高さ471mm (突起部含まず)
本体重量(約)	9kg
材質	■本体：スチール、プラスチック ■ガラスパネル：強化ガラス、スチール

※本製品には、光学ドライブやHDDリムーバブルケースを取り付けるスロット(5/3.5インチベイ)はありません。

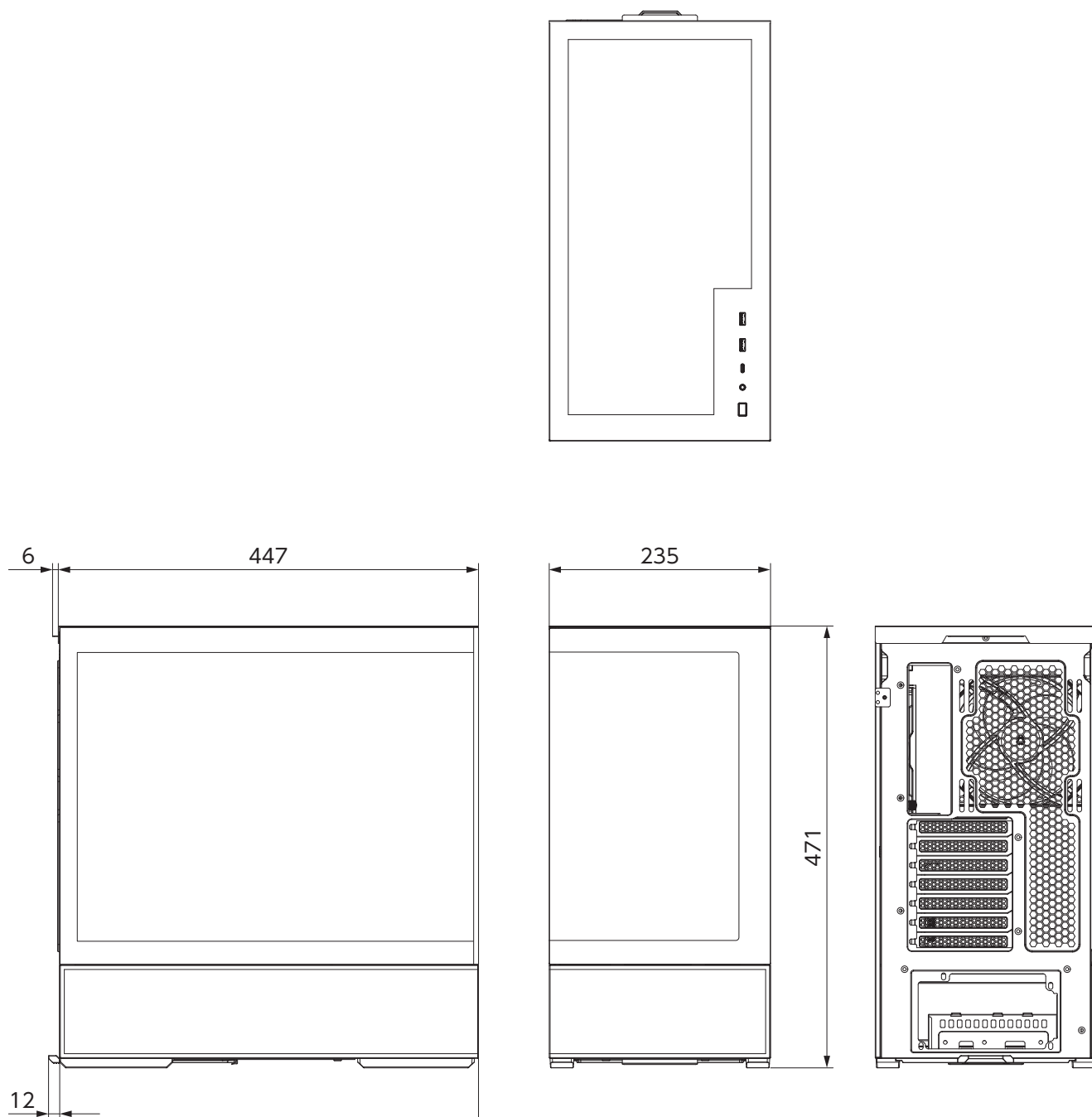
製品の性質上、すべての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。

～キャラクター紹介～

はじめまして、ぼく「PCケースくん」!
この本のいろいろなところで、PCパーツの解説や
作業のヒント、コツなどをお伝えするよ!
いっしょに取り付けをやっていこう!
よろしくね!



寸法図



パネル

電源ユニット

マザーボード

ストレージ

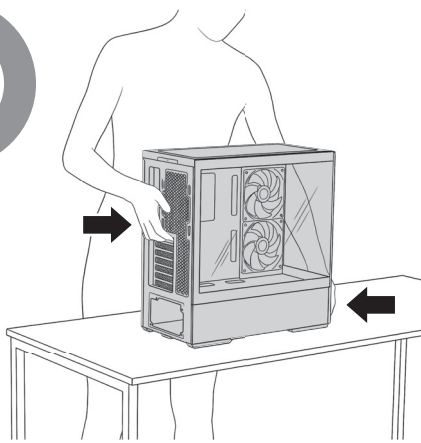
ビデオカード

配線接続・結束

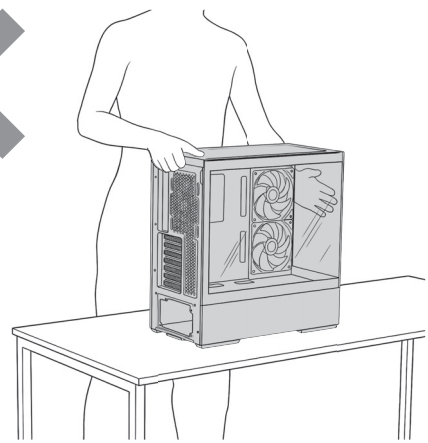
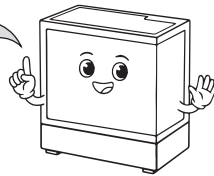
PCパーツの増設

(単位：mm)

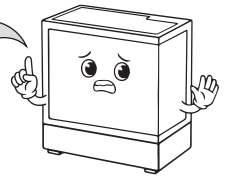
本体を持ち上げる際のご注意



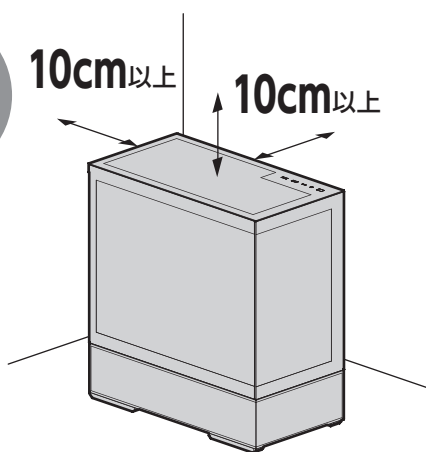
- 本体背面中央付近のくぼみに指をかけ、正面側の底部に手を入れてゆっくり持ち上げます。
- すべりやすいと感じたら、すべり止め付きの軍手がおすすです。



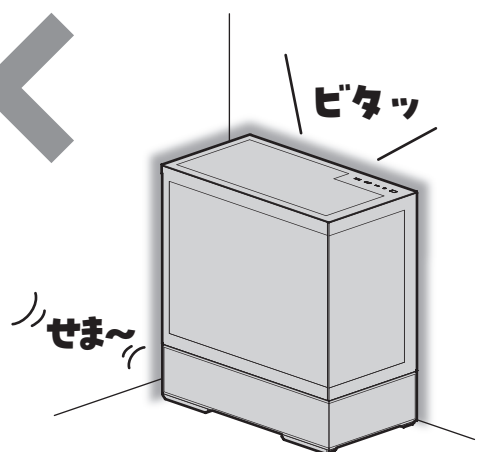
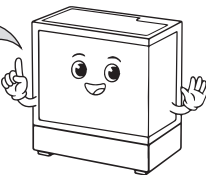
- 上面パネルのツマミ部分を持つと、本体の重みでパネルが外れてしまい危険です。
- ガラスパネルを手で押さえながら持ち上げると、手がすべったりちからがうまく入らず危険です。



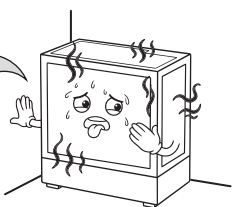
設置時のご注意



- ファンや通気孔のある面から壁や天井まで、10cm以上離して本体を設置してください。
- 冷却ファンの吸排気が良好でない場合は、それ以上離してください。



- 冷却ファンや通気孔をふさぐようにして設置すると、内部に熱がこもりPCパーツの故障や不具合の原因となります。また火災にもつながり危険です。

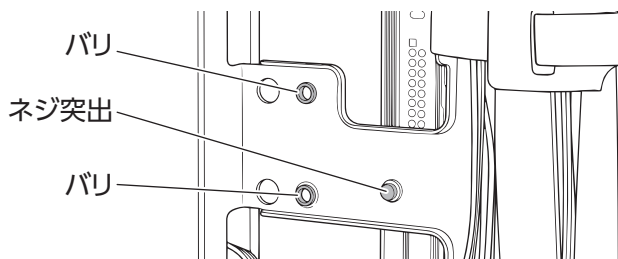


製造上の加工処理について

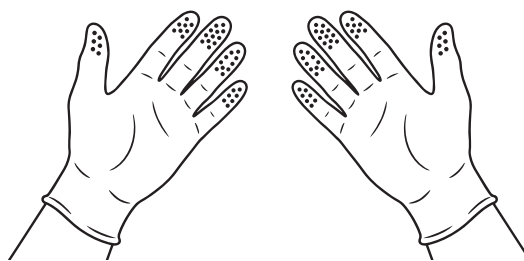


- 本製品の金属パネルのフチやシャーシの内部には、製造上のバリ(鋭利な突起)が残っていたり、ネジ類が突出している場合がございます。
PCパーツの取り付けや配線整理の際、素手で触れると指先を切るけがにつながるおそれがあります。
- 安全のため、作業時はすべり止め付きの薄手の手袋などを着用して、指先を保護してください。
特に、シャーシの奥まった場所に手を入れる際は、見えない箇所の突起に十分ご注意ください。
- けがをしないよう、安全を確保しながら快適に組み立てを行ってください。

■製造上の加工処理(例)



■すべり止め付き手袋(例)



各部品や各ケーブルの接続について



パソコンを構成する各部品やケーブルなどは、規格でサイズや形状が厳密に決められており、基本的には間違った位置や間違った向きには接続しづらい作りになっています。

もし取り付けを行っている際、

- ▶きつく差し込みにくい
- ▶ネジなどが回しづらい

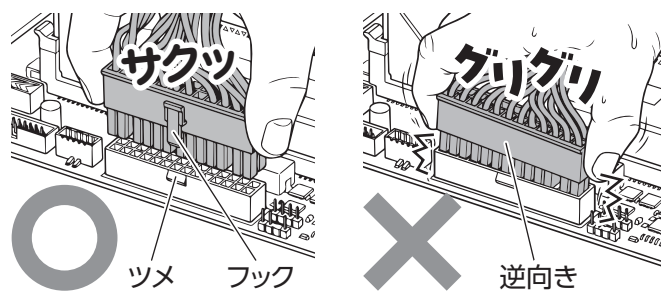
といった場合、取り付けが間違っている可能性があります。
そのようなときは無理に作業を進めず、いちど取り外して

- ▶コネクタのサイズや形状、ピンの数
- ▶コネクタの位置や向き
- ▶機器どうしの規格

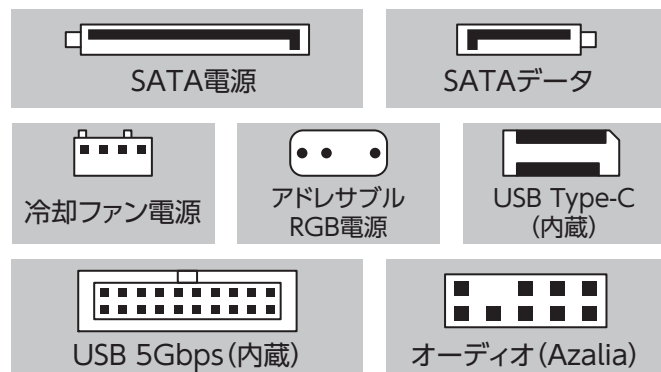
等が合っているかをご確認ください。

(⇒P.22~24)

■コネクタ向きの例(ツメとフック)



■コネクタ形状の例(凹凸・ピン穴)



各部の名称

パネル

電源ユニット

マザーボード

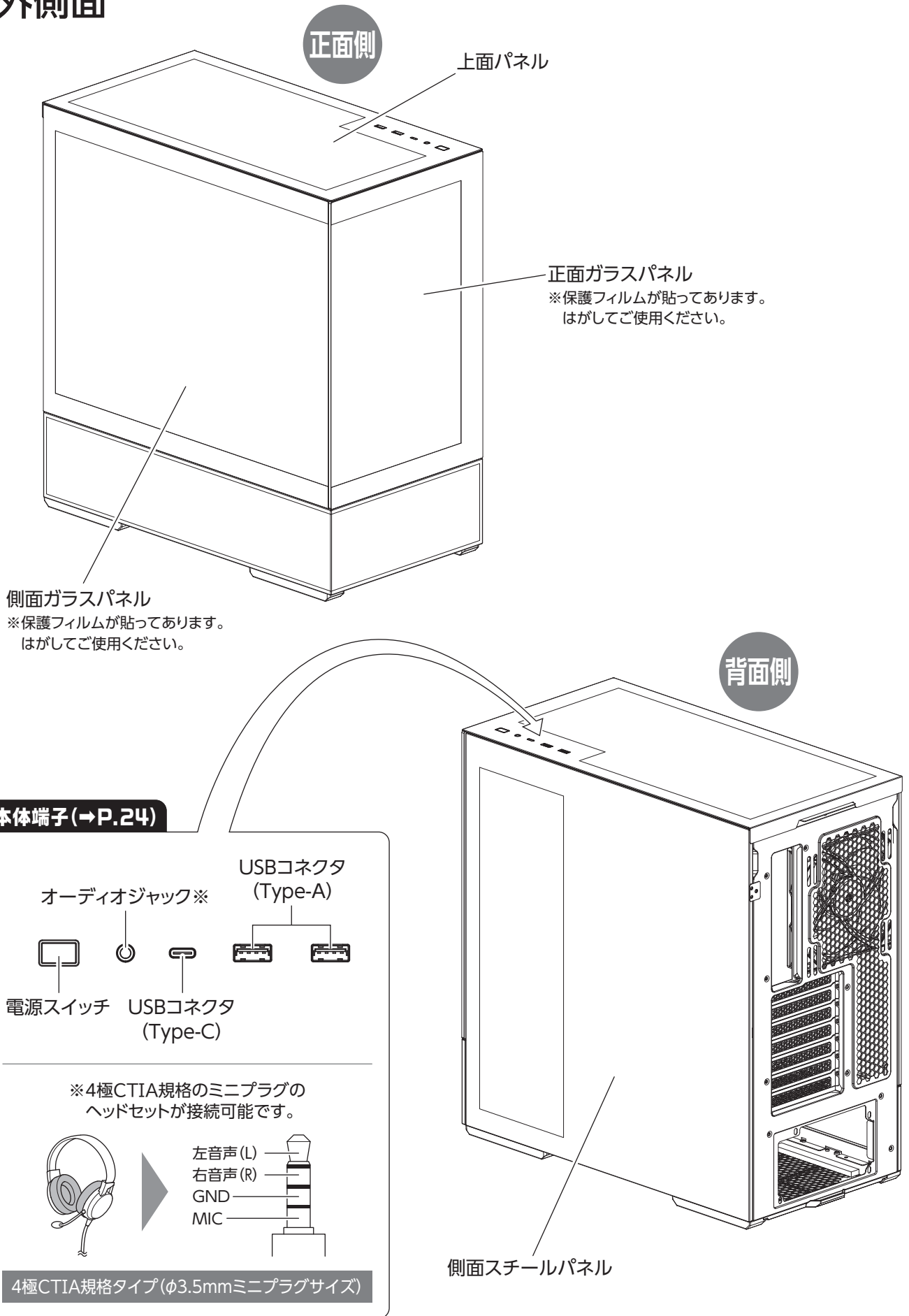
ストレージ

ビデオカード

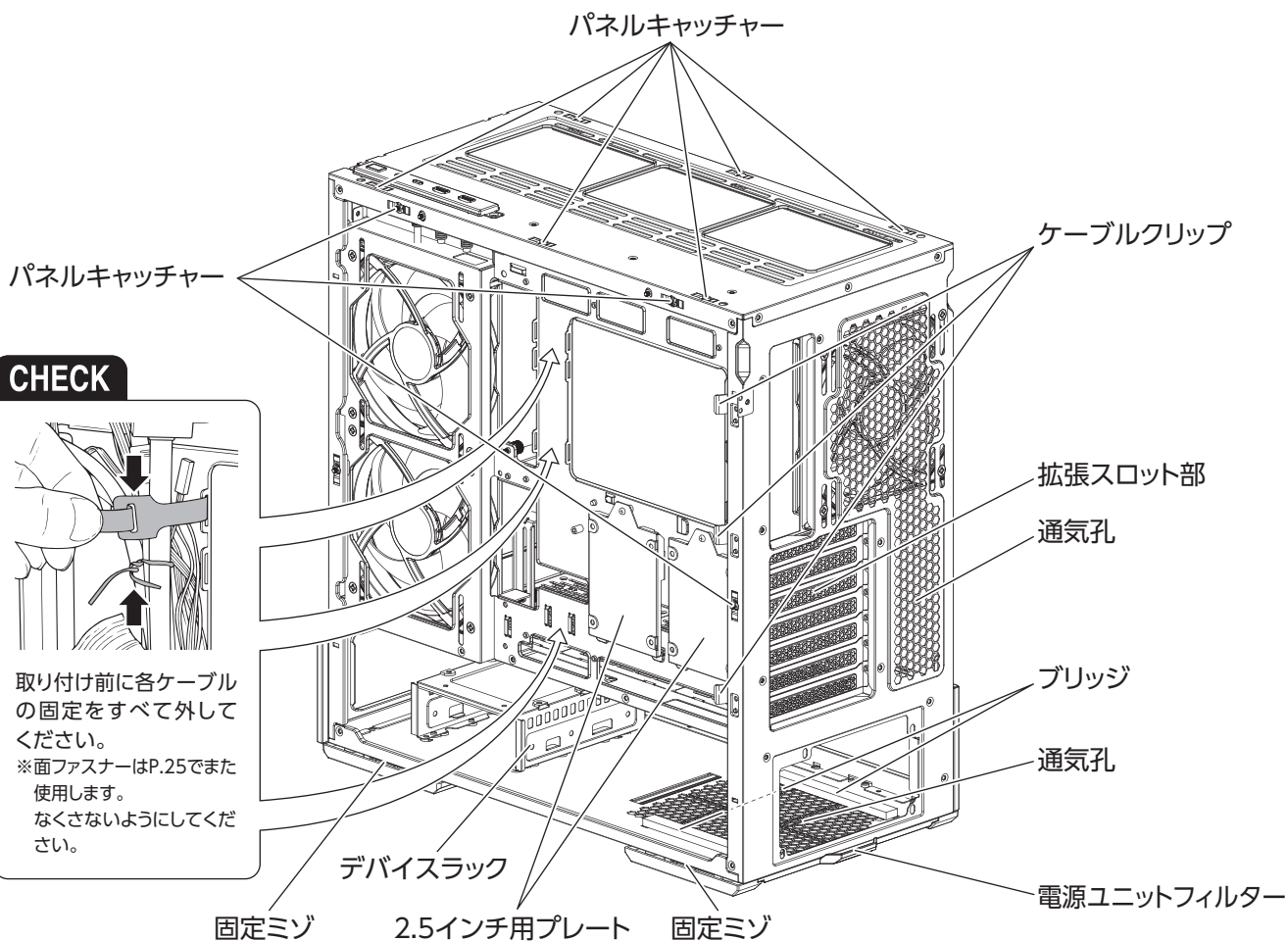
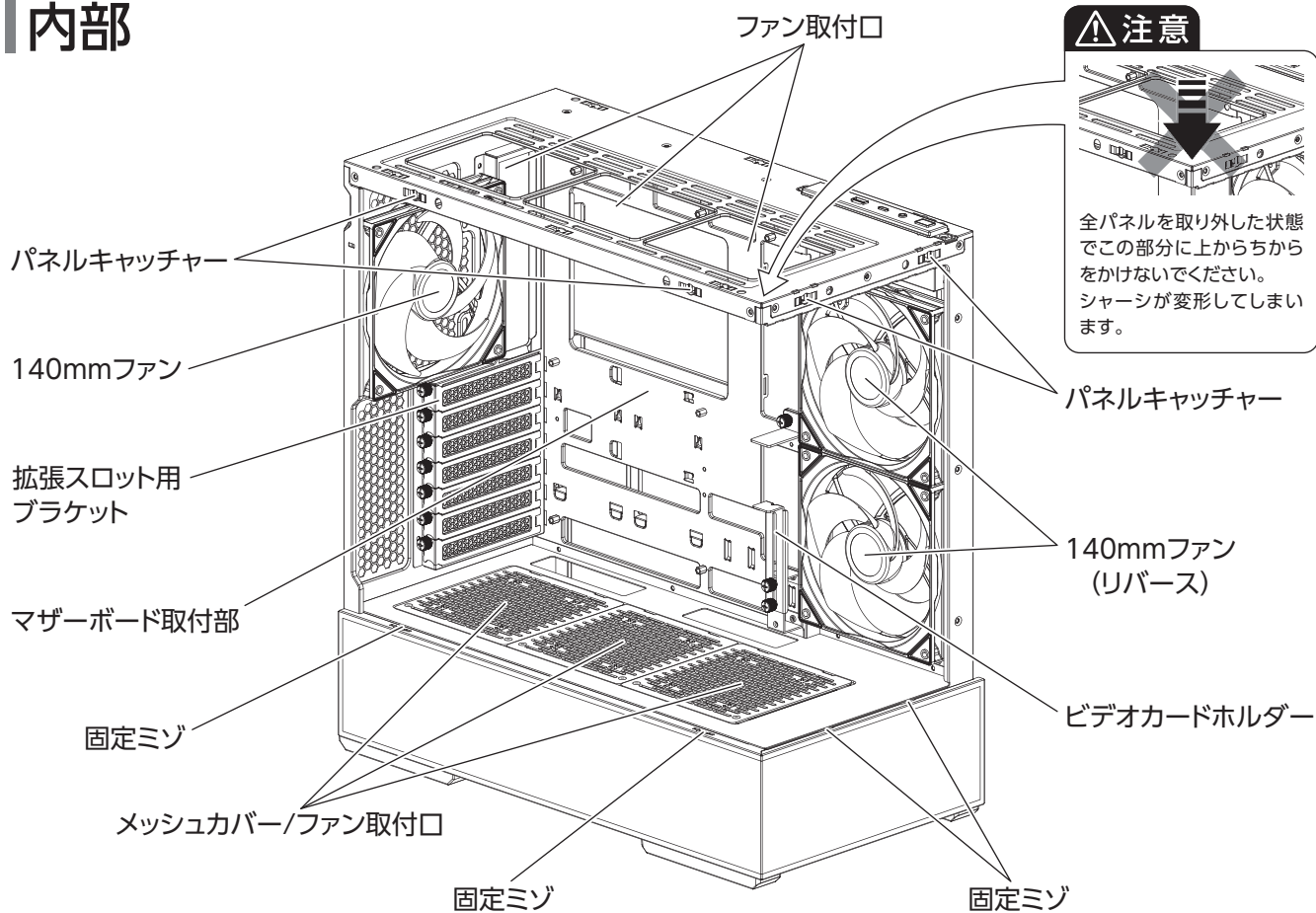
配線接続・結束

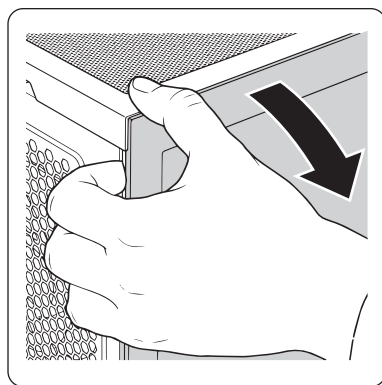
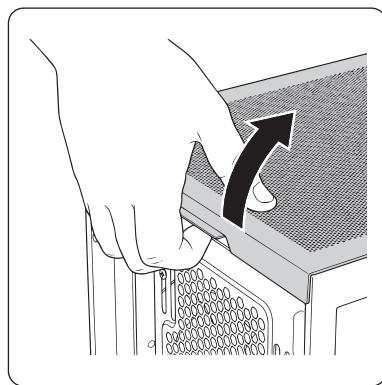
PCパーツの増設

外側面

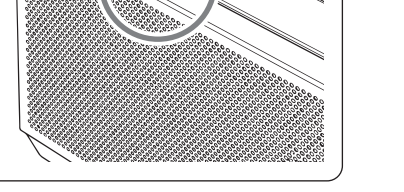
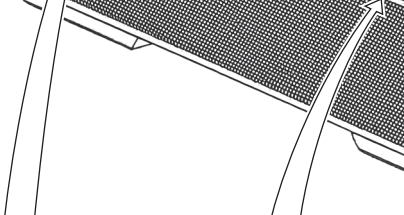
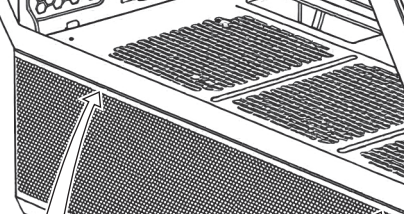
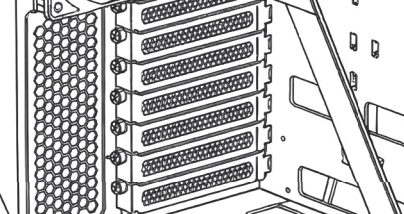
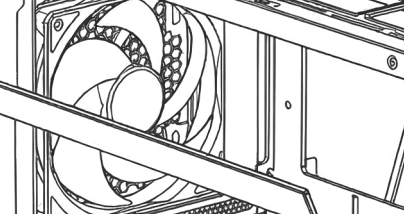
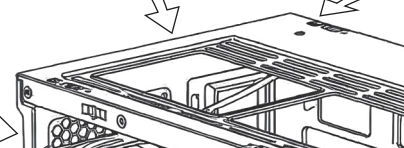
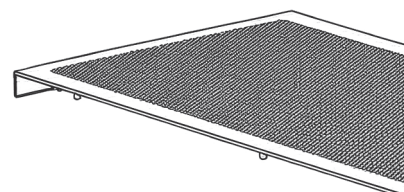


内部





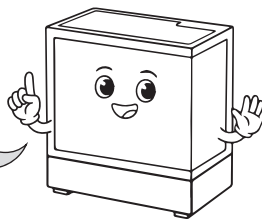
側面ガラスパネル



⚠ 注意

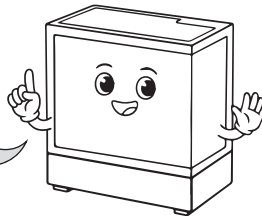
■ガラスパネルのお取り扱いについて

本体から取り外したガラスパネルは、作業中に誤って傷付けたり破損したりしないよう、柔らかい布などの上に寝かせておくか、安全な場所に置いてください。



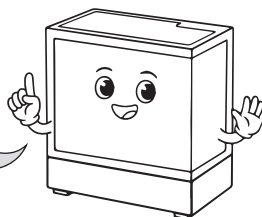
⚠ 注意

新品購入時は各パネルのはめ込みが固い場合があります。勢いよく外すと体に当たったり、本体が倒れる危険があります。はめ込みが固いと思った場合は、本体を片手でしっかりと押さえ、もう片方の手でゆっくり力を入れて外してください。



⚠ 注意

各パネルは、本体フレームに埋設されたパネルキャッチャーで固定されています。そのため、各パネルの裏面に突起がありますのでご注意ください。特にガラスパネルの突起部を下にした状態で上から力をかけるとガラスが割れるおそれがありますのでご注意ください。



固定ミツ

動画de解説

このページの説明を動画でご覧いただけます。

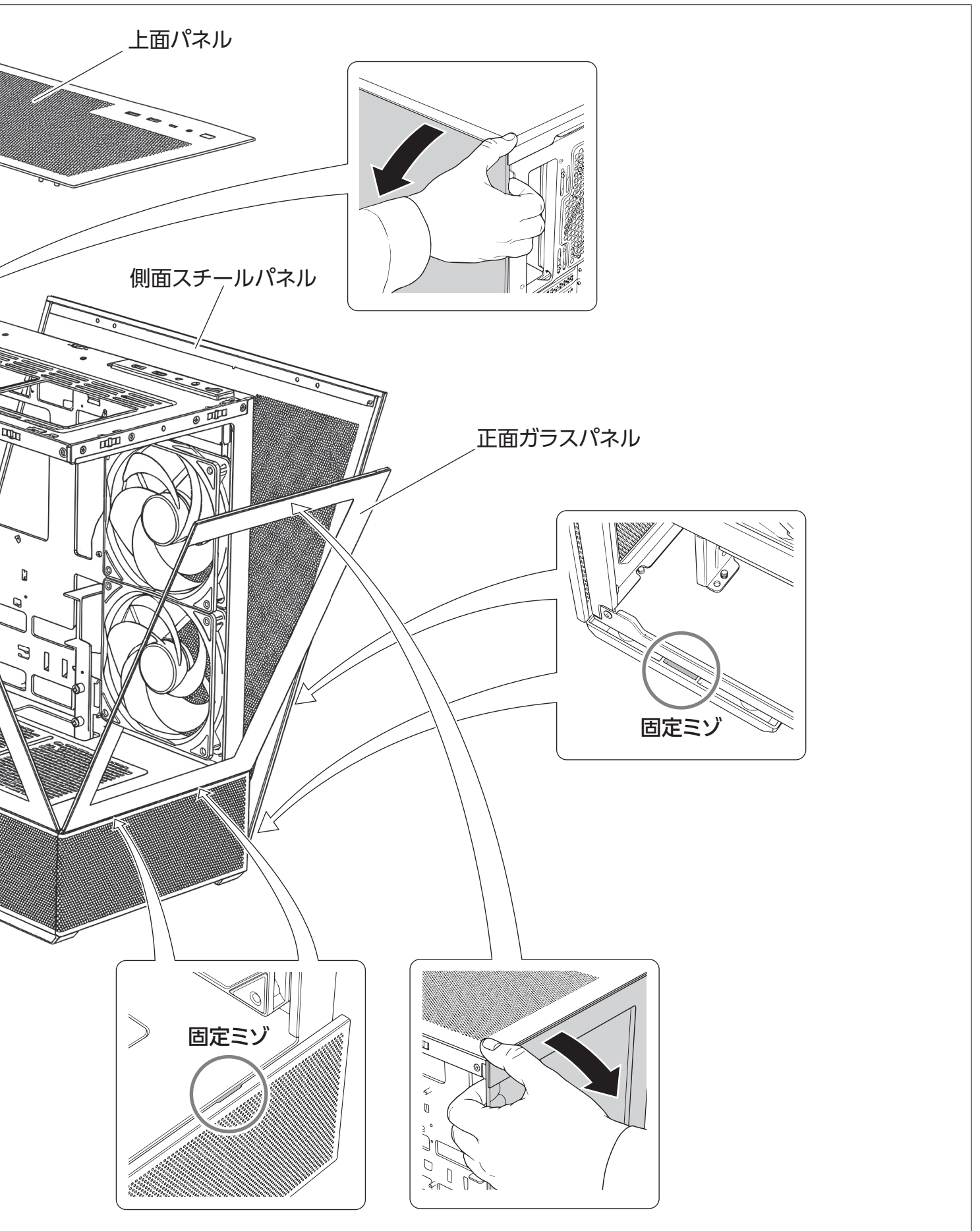


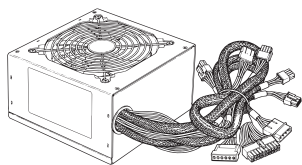
上面パネル

側面ガラスパネル

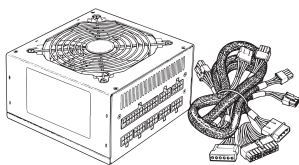
側面スチールパネル

正面ガラスパネル

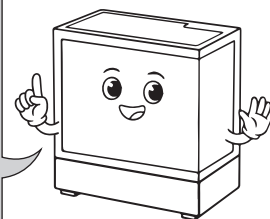




ケーブル直付式

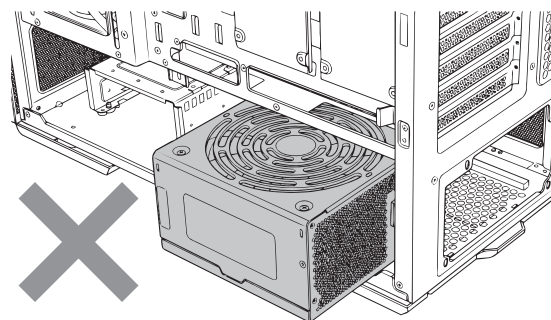
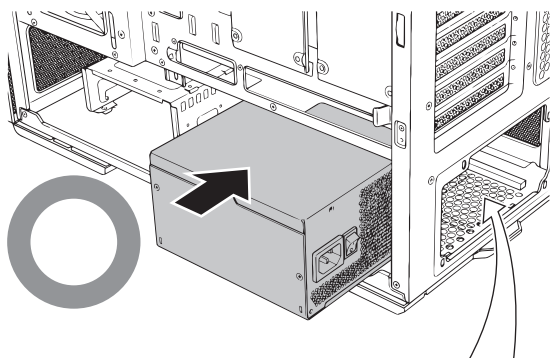
ケーブル着脱式
(プラグインタイプ)

電源ユニットには、PCパーツに接続する電源ケーブル類が背面から直接出ている「直付式」と、使いたい電源ケーブルを付け替えてできる「着脱式(プラグインタイプ)」の2タイプがあるんだ! 本書では「プラグインタイプ」を使って説明しているよ!

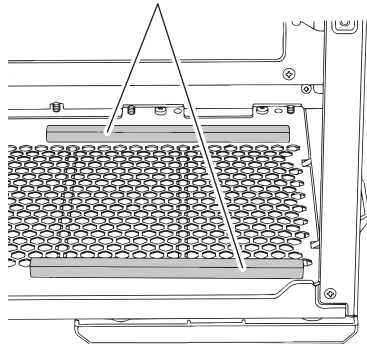


1

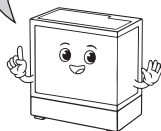
- (1)側面スチールパネルを取り外します。
- (2)電源ユニットのファンを下向きにして本体下部に入れ、本体底部に貼られた2本のブリッジの上に水平に置きます。



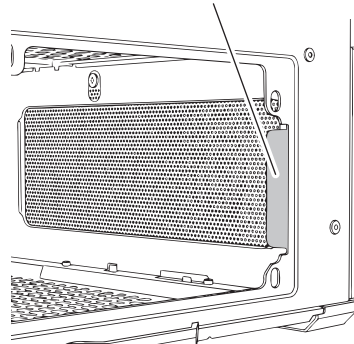
ブリッジ



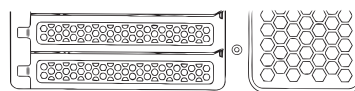
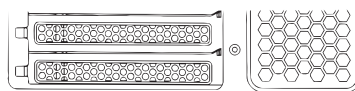
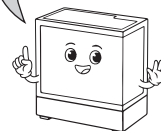
ケースの外側と中側から両手で電源ユニットを持って入れると、水平に置きやすくなるよ! あわてずゆっくりやれば大丈夫!



ストッパー



電源ユニットの側面がストッパーに垂直に当たっていればOK! 手間側もすき間がないように寄せておこう!



電源ユニットが水平に置かれていない場合は、再度セットをやり直してください。

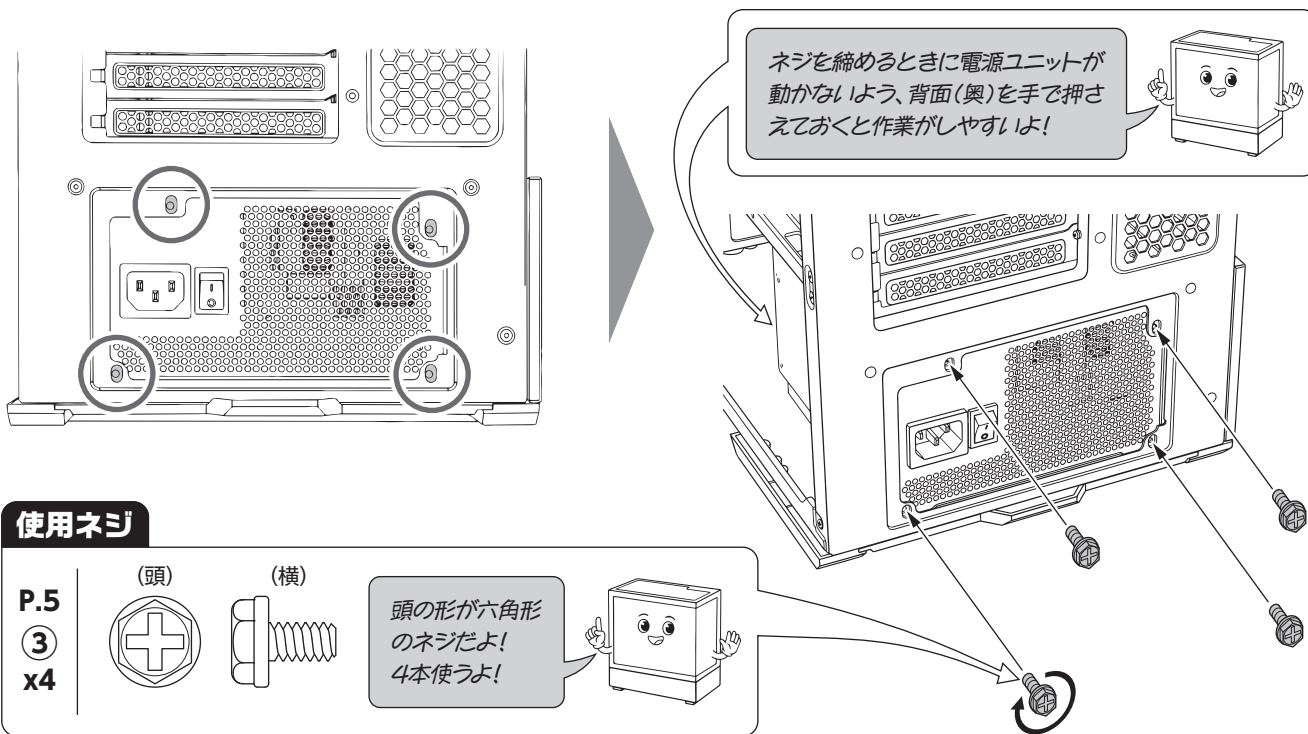
1-2)

動画de解説

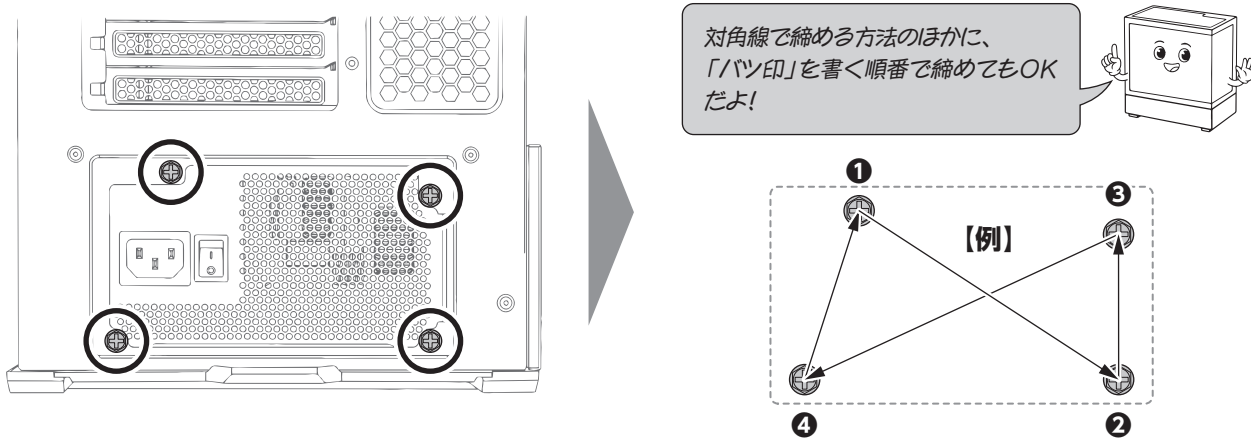
このページの説明を動画でご覧いただけます。



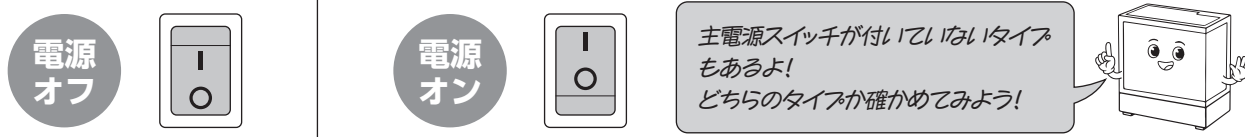
2 正面から見て、電源ユニットと本体の4つのネジ穴が合っていることを確認してネジを締めます。
電源ユニットが斜めになったまま締めると、電源ユニットの破損や故障の原因となります。



★ネジ締めする際は、1箇所1箇所を最後まで締め切るのではなく、必ず**対角線上に仮締め→本締め**してください。



電源ユニットにスイッチ(主電源)がついている場合、取り付け作業が完全に終わるまでスイッチを「OFF」にしておきましょう。「O」側が電源オフ、「I」側が電源オンになります。



※スイッチの向きが図と異なる製品もあります。

動画de解説

このページの説明を動画でご覧いただけます。





お手持ちのマザーボードにCPUなどのPCパーツを取り付けたあと、マザーボードを本体に取り付けます。

なお、本書に記載している取り付け順(P.14~21)はあくまで目安となります。

組み込むPCパーツによって取り付ける順番が変わる場合があります。

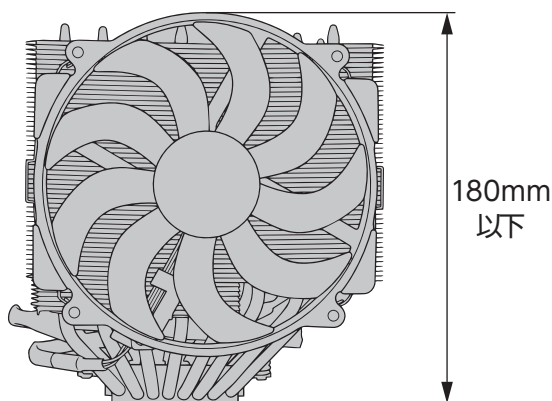
各PCパーツの取扱説明書もご確認のうえ、最適な順序で取り付けを行ってください。



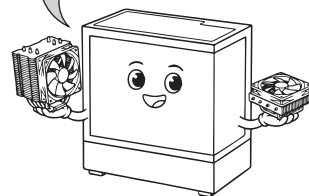
注意

1 作業を行う前に、マザーボードに取り付けたCPUクーラーのサイズが下図の寸法範囲内に収まっているかをご確認ください。

※寸法範囲に収まっている場合でも、冷却ファンや放熱フィンの突起などによっては側面ガラスパネルをきちんと取り付けられない場合があります。あらかじめご了承ください。



CPUクーラーを載せたマザーボードを取り付けたあとに、側面ガラスパネルが閉まるかどうか確認しよう!



注意

CPUクーラーの突起部や電源ケーブル配線のスペース等を加味したうえで、お手持ちのマザーボードを取り付けても問題ないかをご確認ください。

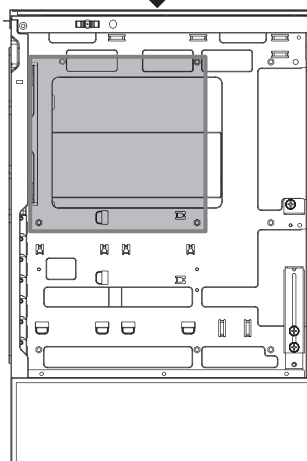
2 ★マザーボードを本体に取り付ける前に、本体側のネジ位置(スペーサー)を確認しておきます。

※使用するネジ位置とネジの本数は、マザーボードの規格によって異なります。

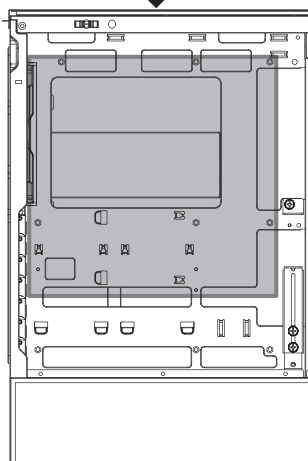
★マザーボード側のネジ穴は、銀色の枠状になっています(マザーボードの裏から見ると分かりやすいです)。

※取り付ける際は、マザーボードの金属部にむやみに触れないようにしてください。

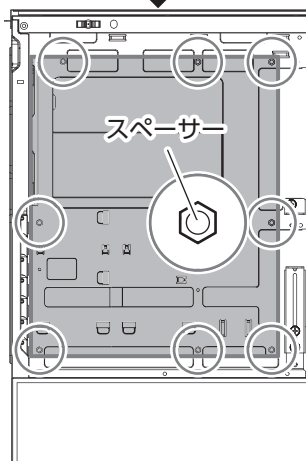
Mini-ITX



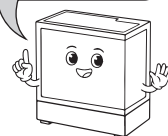
Micro-ATX



ATX



本書では「ATX」のマザーボードを使って説明するよ!
(出荷時、ATXマザーボード用にスペーサーを取付済み。)
ほかの規格のマザーボードでも、取り付け位置(左図)が異なる以外は、基本的に同様の手順になるよ!
その際、スペーサーの位置を移動したときは、P.31を見てね!

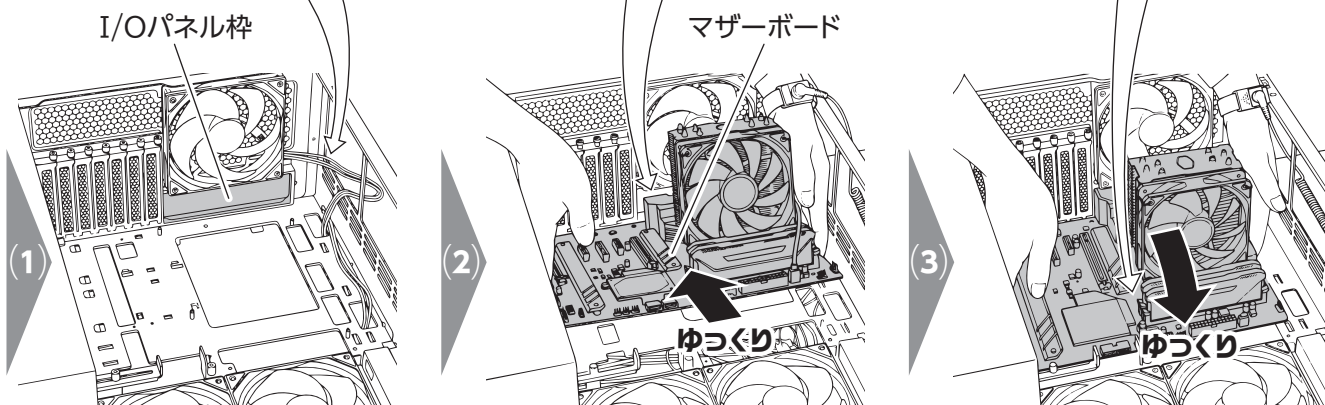


- ③ (1)本体をゆっくり横に倒し、作業する台の上に置きます。※やわらかい布などを台の上に敷くと、本体や台への傷付きを防止できます。
- (2)マザーボードの両サイドのフチ部分を手持ち、I/Oパネル枠に合わせながら斜めに傾けて入れていきます。
- (3)ゆっくりと水平に倒して本体のネジ位置に合わせて置きます。

作業のじゃまになるケーブルは離しておきます。(本体でケーブルを踏まないようご注意ください。)

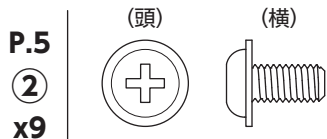
マザーボードのパネルと本体のI/Oパネル枠を見ながら、ゆっくり傾けて入れていきます。

最初に真ん中の穴位置を合わせると、ほかの穴位置がそろいます。

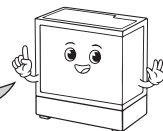


- ④ (1)マザーボードを真上から見て、9つのネジ穴が本体のネジ穴と合っていることを確認してネジを締めます。
※ネジ締めがきつい場合、マザーボードにゆがみが生じている可能性があります。
いちどマザーボードを取り外して本体側のネジ穴位置を確認し、再度取り付けをお試しください。(➡②)

使用ネジ

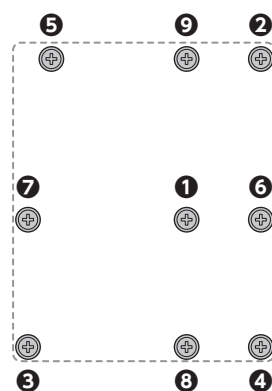
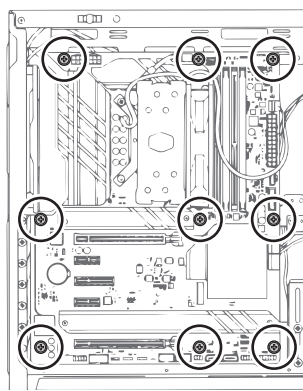
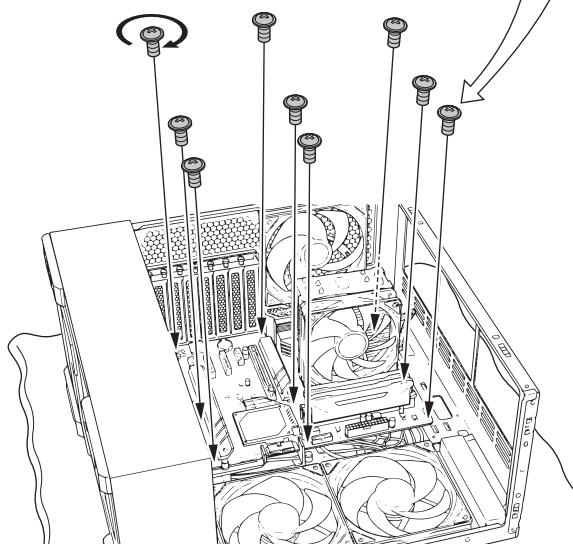


ネジの頭が帽子みたいりに少し広がっているよ!
ネジの刻みが細かいよ(ミリネジ)!
9本使うよ!



★ネジ締めする際は、1箇所1箇所を最後まで締め切るのではなく、必ず**対角線上に仮締め→本締め**してください。

締め付け順(例)



(2)本体を縦置きに戻して作業終了です。ケーブルの接続についてはP.22をご参照ください。

動画de解説

このページの説明を動画でご覧いただけます。



ストレージを取り付ける



パネル

電源ユニット

マザーボード

ストレージ

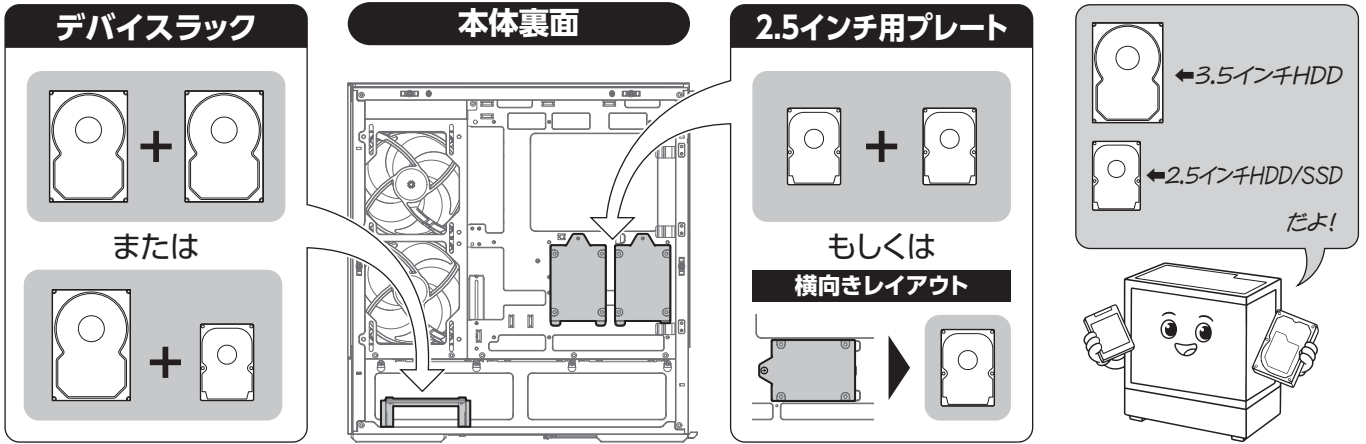
ビデオカード

配線接続・結束

PCパーツの増設

■基本的なレイアウトについて

デバイスを取り付ける際は下図のレイアウトを参考にしながら、お手持ちのデバイスの種類や数、今後のメンテナンスの都合などに合わせて取り付けを行ってください。



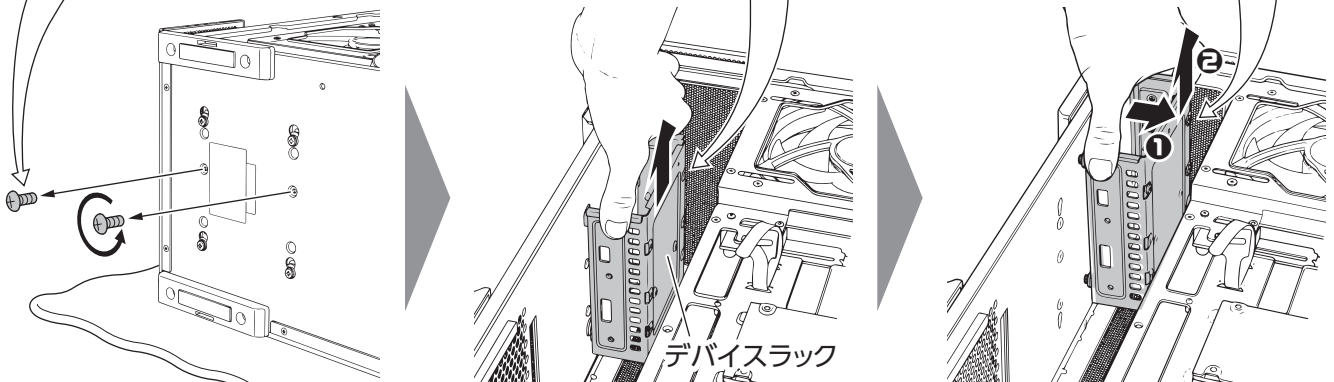
デバイスラック編 ①

【準備】本体を側面ガラスパネル側を下向きにして、作業する台の上に置きます。
 ※やわらかい布などを敷き、その上に置いて作業をするとガラスの傷付きや破損を防止できます。
 その際、布のおもてうらに工具やネジ類などが置かれていないかご確認ください。

(1)本体とデバイスラックを固定している2本のネジを外します。
 ※ネジの紛失にご注意ください。

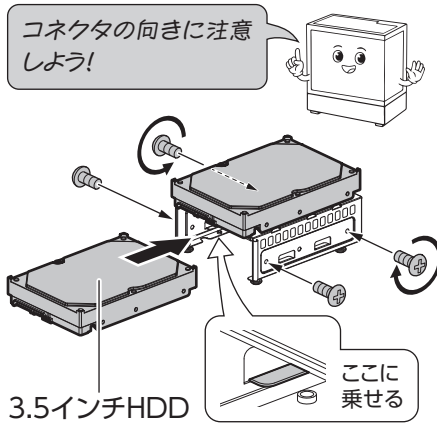
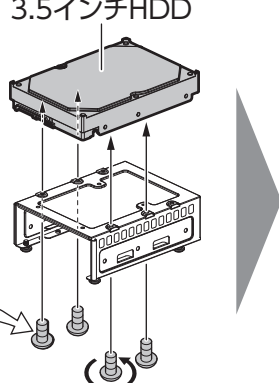
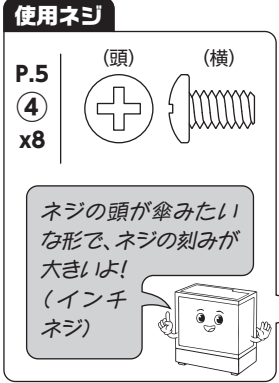
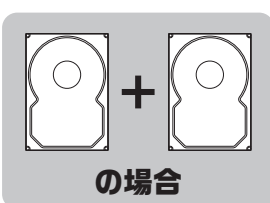
(2)デバイスラックを上へ少しスライドさせます。固い場合は、本体を押さえてながら作業してください。

(3)スライドが止まったら底面から離し(①)、そのまま上に引き上げます(②)。



デバイスラック編 ②

下図を参考に、3.5インチHDDを取り付けます。
 取り付け場所・向き、使用するネジにご注意ください。



動画de解説

このページの説明を動画でご覧いただけます。

デバイスラック編①-(1)/(2)(3)

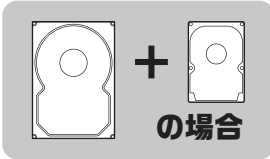


デバイスラック編②

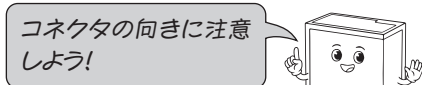


デバイスラック編 ③

下図を参考に、2.5インチHDD/SSDと3.5インチHDDを取り付けます。取り付ける場所・向き、使用するネジにご注意ください。



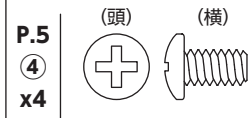
2.5インチHDD/SSD



3.5インチHDD

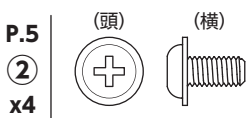


使用ネジ



ネジの頭が傘みたいな形で、ネジの刻みが大きいよ (インチネジ)。

使用ネジ



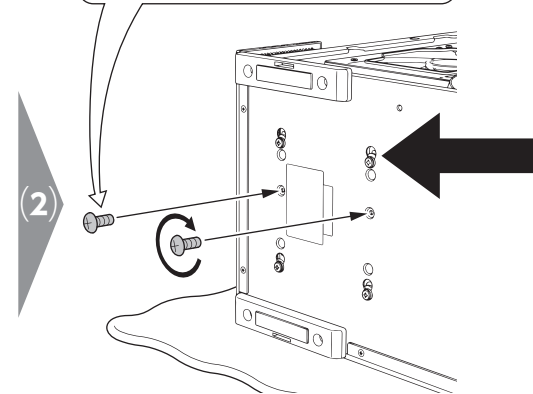
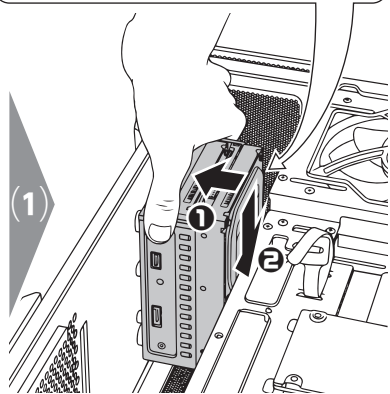
デバイスラック編 ④

- (1) デバイ斯拉ックを元の場所にセットします。底面の雪だるま型の穴にゴムブッシュを通してください。(下図参照)
- (2) デバイ斯拉ックを固定していたネジを締めます。

デバイスラック編①の(2)(3)の逆の手順を追って、デバイ斯拉ックを取り付けます。

デバイスラック編①の(1)で外した2本のネジを締めて、デバイ斯拉ックを固定します。

セットの良い例・悪い例

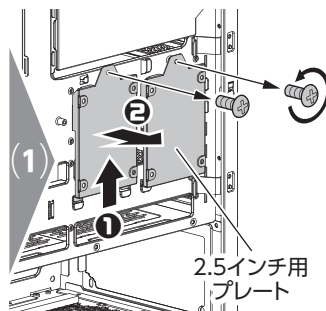


正しくセットされている	ゴムブッシュがはさまっている
ちゃんと穴に入っていない	途中で止まっている

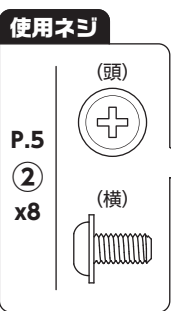
(3) 本体を縦置きに戻して作業終了です。ケーブルの接続についてはP.22をご参照ください。

2.5インチ用プレート編

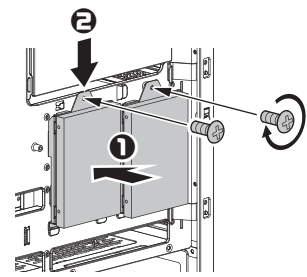
- (1) 2.5インチ用プレートを本体から取り外します。ネジを外し、上に少しスライドすると外せます(①→②)。
- (2) 2.5インチHDD/SSDをプレートの裏側からネジで固定します。
- (3) 2.5インチ用プレートを元の位置に戻し(①→②)、ネジを締めます。



2.5インチ用プレート



2.5インチHDD/SSD ↑ コネクタ



※「横向きレイアウト」も手順は同じです(説明は省略)。

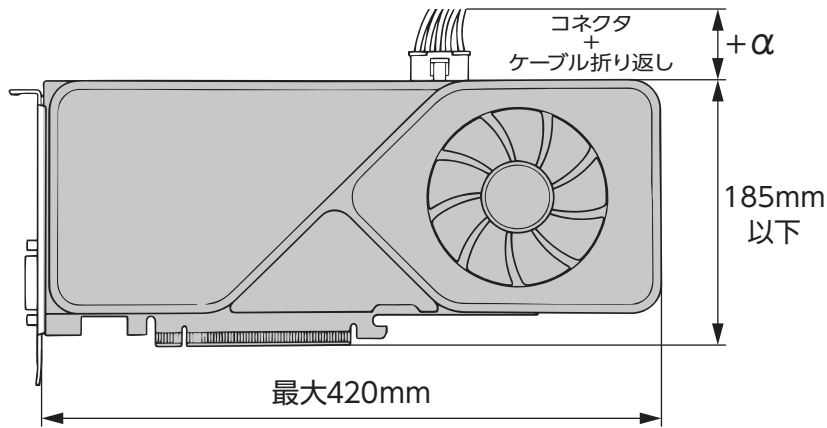
動画de解説

このページの説明を動画でご覧になれます。

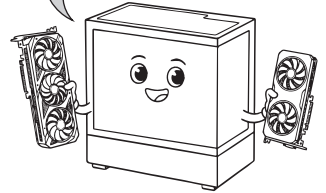
デバイスラック編③	デバイスラック編④-(1)/(2)	2.5インチ用プレート編(1)/(2)/(3)



- 1** 作業を行う前に、お手持ちのビデオカードのサイズが下図の寸法範囲内に収まっているかをご確認ください。
 ※寸法範囲に収まっている場合でも、補助電源ケーブルのサイズによっては側面ガラスパネルをきちんと取り付けられない場合があります。
 あらかじめご了承ください。



ビデオカードを取り付けたあとに正面・側面のガラスパネルが閉まるかどうかを確認しよう！
 補助電源ケーブルの取り回しスペース（右図の+α部分）も要チェック！



⚠ 注意

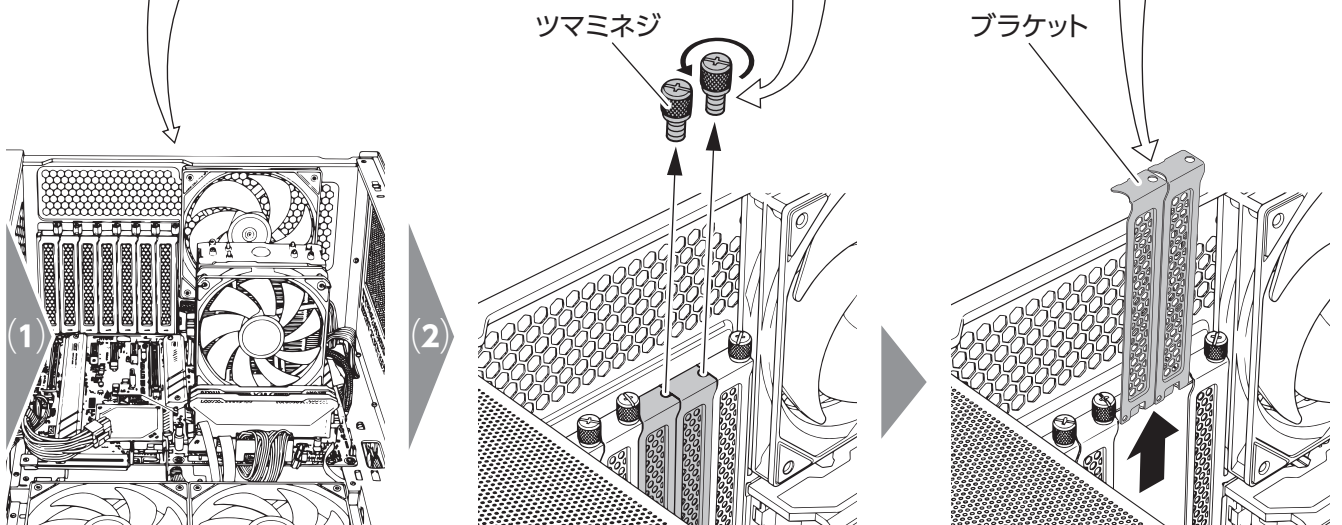
本製品はマザーボードの表面（基板面）から、側面ガラスパネルまでの空間が約185mmとなります。
 ビデオカード外周の突起部や、補助電源コネクタのケーブル配線のスペース（上図の+α部分）等を加味したうえで、
 取り付けできるかご確認ください。
 （各メーカーが公表しているビデオカードの寸法の中には、PCI-Expressコネクタや固定金具、突起部などを含まない場合があるようですのでご注意ください。）

- 2** (1) 本体をゆっくり横に倒し、作業する台の上に置きます。※やわらかい布などを台の上に敷くと、本体や台への傷付きを防止できます。
 (2) ブラケットを固定しているツマミネジを外し、ブラケットを外します。（外す場所、段数は使用するビデオカードにより異なります。）

マザーボードのPCI-Expressスロット（ビデオカードを差し込むところ）が見える位置に立つと作業がしやすいです。（→⑥）

プラスドライバーで1~3本のツマミネジを外します（ご使用になるビデオカードの厚さにあわせてください）。
 ※ツマミネジはまた使います。

外したブラケットはなくさないよう保管してください。



2-2

動画de解説

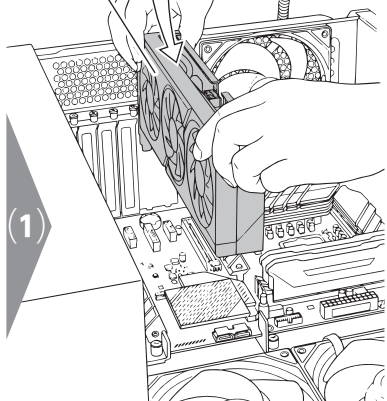
このページの説明を動画でご覧いただけます。



- 3** (1)空いたブラケットの場所に収まるよう、ビデオカードをマザーボード側スロット(PCI-Express)の上に垂直に合わせます。
 (2)ビデオカード基板とマザーボード側スロットのミゾを合わせ、均一に力を加えてゆっくり水平垂直に差し込みます。
 (3)ツマミネジでビデオカードを固定します。

ビデオカードを両手で持ち、水平垂直にゆっくりスロットに差し込みます。(差し込む場所にご注意ください。)

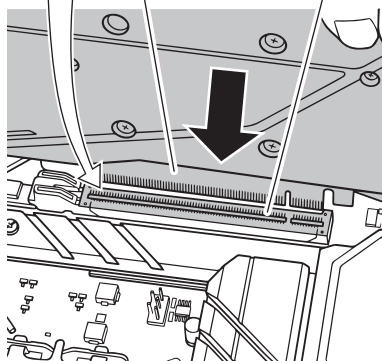
ビデオカード



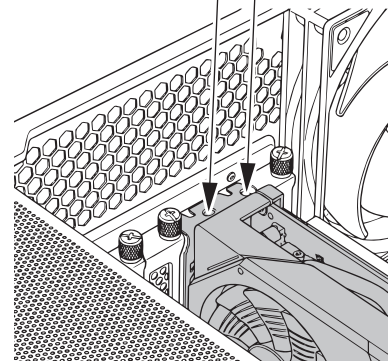
ビデオカード基板とマザーボード側のスロットのミゾが少しでもズれているとうまく入りません。ビデオカードを左右前後に動かしたりせず、水平垂直に差し込みましょう。

基板

スロット



プラスドライバーで先ほど外したツマミネジを締め、ビデオカードを固定します。



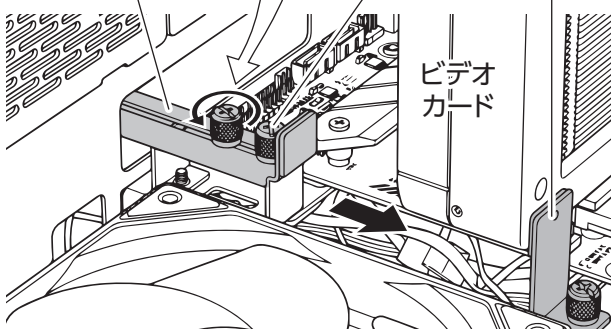
- 4** (1)ビデオカードホルダーの幅を調節し、ビデオカードを固定します。

- ①プラスドライバーで2本のツマミネジを緩めます。(全部外さなくても大丈夫です)
 ②ビデオカードホルダーをビデオカードの方向にスライドさせます。

ビデオカードホルダー

ツマミネジ

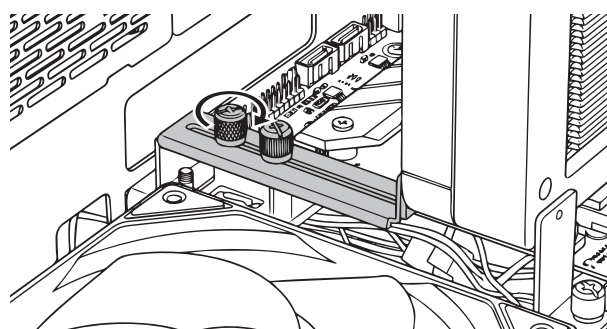
ストッパー



ビデオカード

- ③ツマミネジを締め、ビデオカードを固定します。

※拡張スロットに取り付けたほかのパーツにビデオカードホルダーやストッパーが干渉して正常にセットできない場合は、それぞれを固定しているツマミネジと一っしょに取り外してください。



注意

本製品のビデオカードホルダーは重量のあるビデオカードの変形を防いだり、マザーボードのPCI-Expressスロットへの負荷を軽減することを目的としたものですが、実際の効果を保証するものではありません。ビデオカードホルダーだけでは不足と思われる場合は、お使いのビデオカードに合った市販品ホルダーの追加をご検討ください。

(2)本体を縦置きに戻してこの作業は終了です。ケーブルの接続についてはP.23をご参照ください。

動画de解説

このページの説明を動画でご覧になれます。



3-1/2/3

4-1



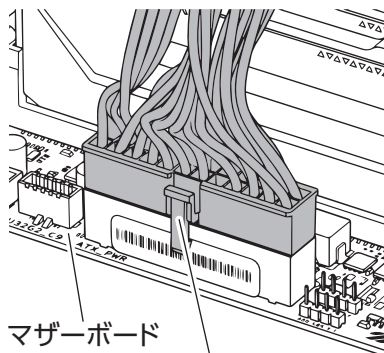
マザーボード

⚠ 注意

- 右図の接続は一例です。
- マザーボードによって各コネクタの位置や並びかた、個数は異なります。
- マザーボードによってコネクタの数や形状が異なる場合があります。お使いのマザーボードやCPUの取扱説明書もご参照のうえ、正しいコネクタを正しい位置に接続してください。

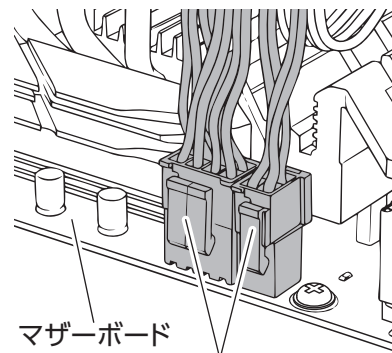
マザーボード電源

電源ユニットから

マザーボード
24ピンATX

CPU電源

電源ユニットから

マザーボード
CPU12V

ストレージ

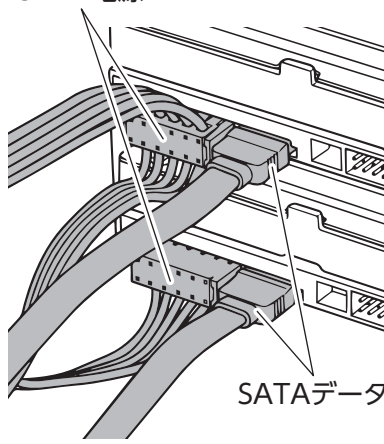
⚠ 注意

- 右図の接続は一例です。(2.5インチも基本は同じ。)
- マザーボードによってコネクタの位置や並びかた、接続できるストレージの数は異なります。
- 搭載するストレージの総数や分岐のしかた、電源ユニットからの距離などを考慮のうえ、各ケーブルをご用意ください。
- SATA電源、SATAデータの各コネクタに上下から強い力が加わるとHDD/SSD側の部品が破損する原因となります。

SATA電源 + SATAデータ
(3.5インチHDD x2の場合)

SATA電源

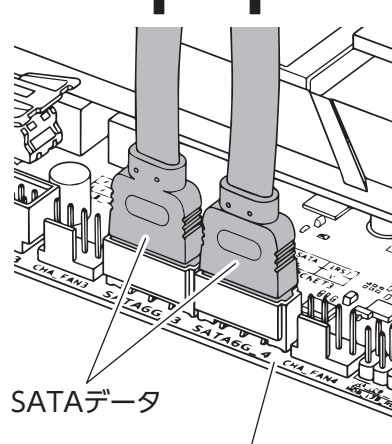
電源ユニットから



マザーボードから

SATAデータ

ストレージへ



SATAデータ

マザーボード

動画de解説

このページの説明を動画でご覧いただけます。



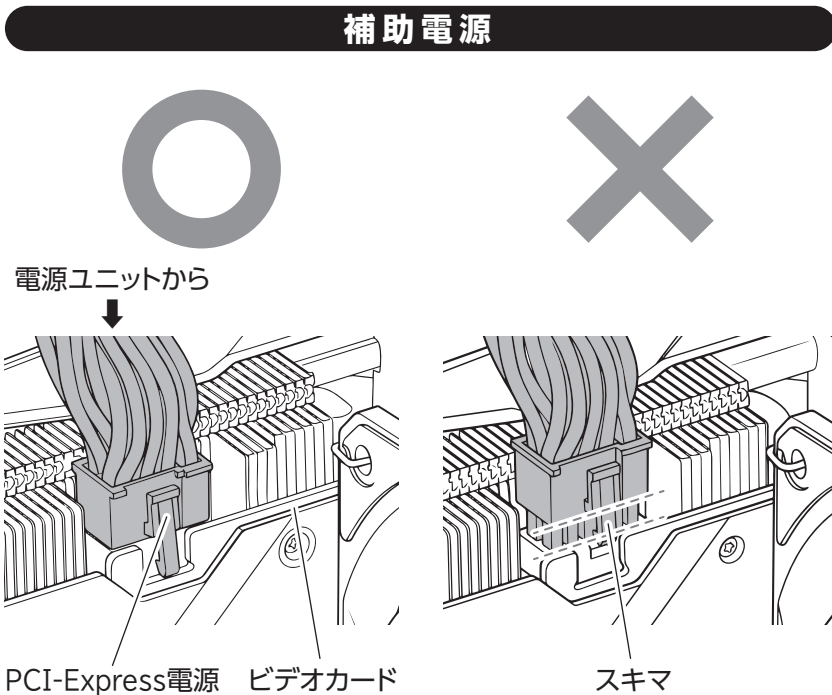
マザーボード

ストレージ

ビデオカード

注意

- 右図の接続は一例です。
- ビデオカードによってコネクタの位置、ピン数やコネクタの大きさは異なります。お使いのビデオカードの取扱説明書もご参照のうえ、正しいコネクタを接続してください。
- ビデオカードは消費電力が大きく、コネクタが正しく取り付けられていないと故障の原因となることがあります。取り付けたあとに、正しく奥まで差し込んであるかご確認ください。

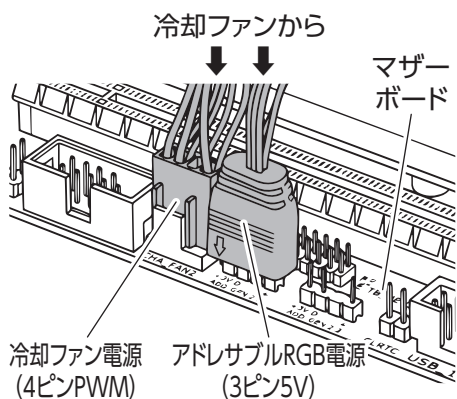


冷却ファン

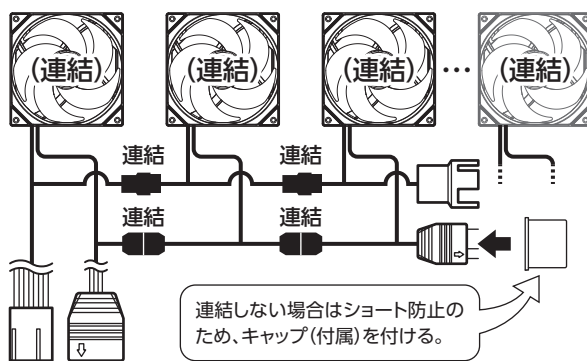
注意

- 下図の接続は一例です。
- マザーボードによってコネクタの位置や並びかた、接続できるファンの数は異なります。

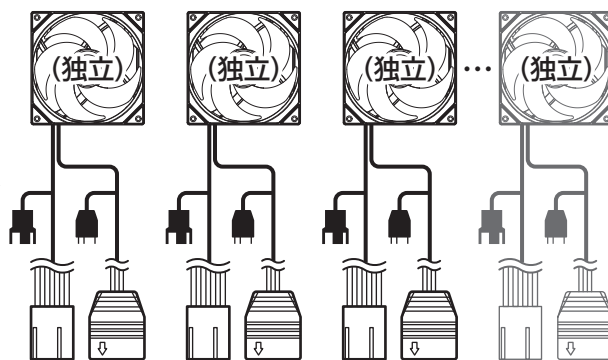
冷却ファン電源 + アドレスラブルRGB電源



出荷時
(3連結)
↓
同色で
発光



アドレスラブル
(独立)
↓
別色で
発光*



*マザーボード側にコントロール機能がある場合。

動画de解説

このページの説明を動画でご覧いただけます。

ビデオカード



冷却ファン

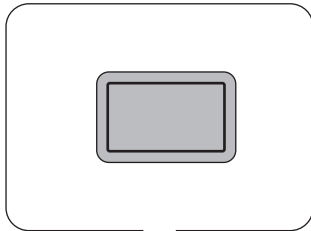




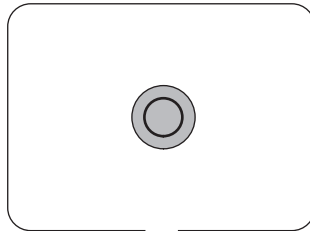
本体端子

⚠ 注意

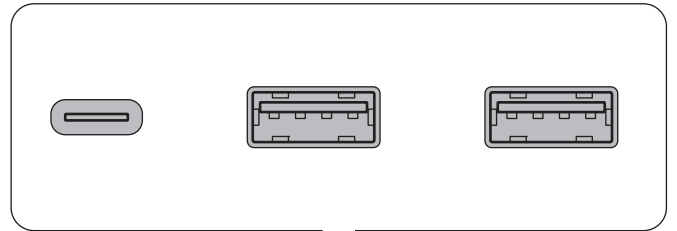
- 下図の接続は一例です。
- マザーボードによって各コネクタの位置や並びかたは異なります。
- ピンヘッダーコネクタはお使いのマザーボードの取扱説明書をご参照のうえ、正しい位置に接続してください。



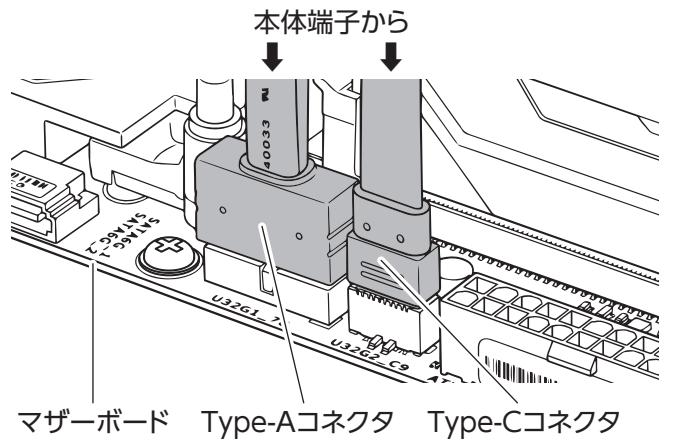
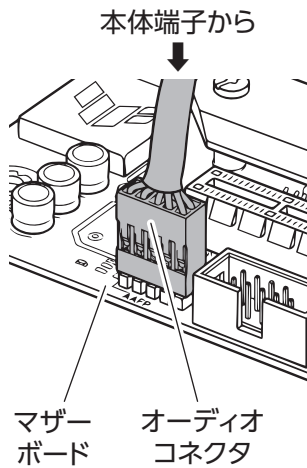
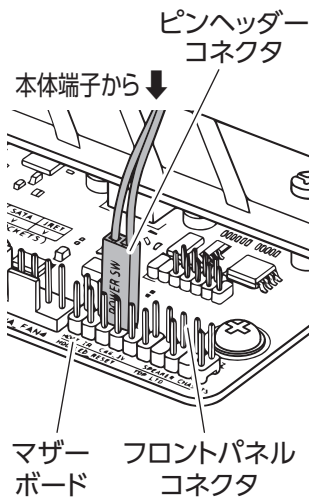
電源スイッチ



オーディオジャック



USBコネクタ (Type-C・Type-A)



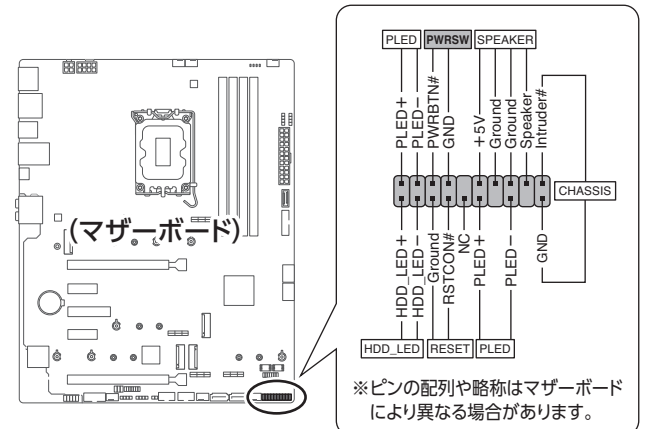
本製品はマザーボードのフロントパネルコネクタ(システムパネル)に対して、「**電源スイッチ (PWRSW)**」(右図)のみを接続する構成になっています。

- リセットスイッチ (RESET)
- 電源ランプ (PLED)
- HDDアクセスランプ (HDD_LED)
- スピーカー (SPEAKER)

は接続しません。

これらの機能をお使いになりたい場合は、単体で機能するスイッチ等を別途お買い求めいただき、マザーボードの取扱説明書をご参照のうえ取り付けを行ってください。

■ フロントパネルコネクタの例



動画de解説

このページの説明を動画でご覧いただけます。

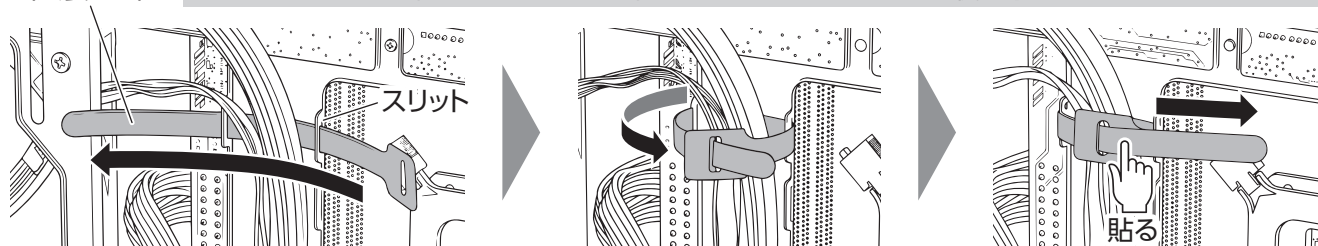
本体端子



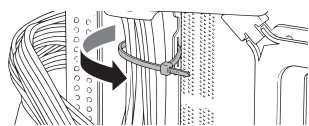
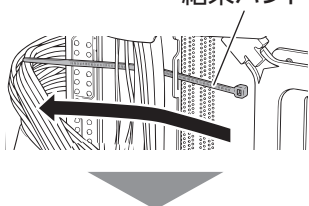
背面結束(裏配線)

面ファスナー
(表裏なし)

図はスリットを使った結束方法(裏配線)です。ほかに気になる配線箇所があればお好みに結束してください。
また面ファスナー・結束バンドは、ケーブル束の太さやスペースに合わせて使い分けてください。

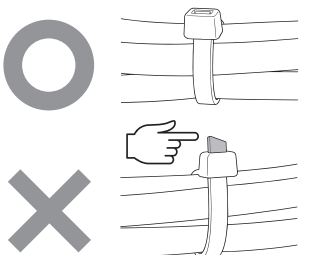


結束バンド

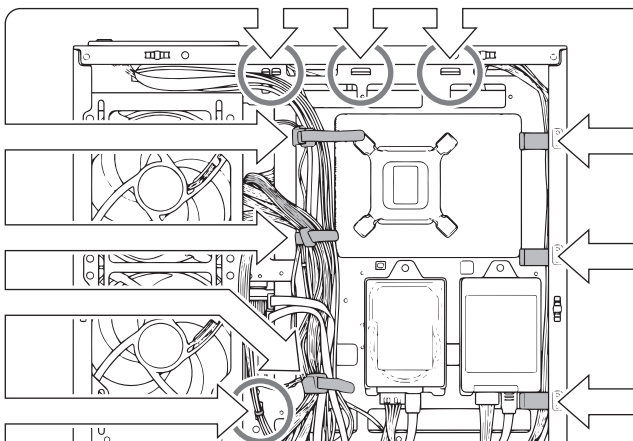


※きつく締めすぎない

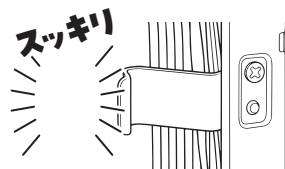
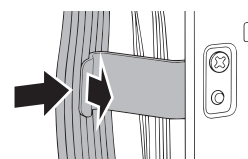
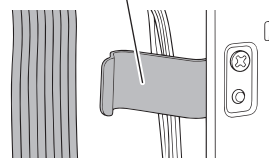
狭い箇所では締めるときは、ラジオペンチを使うと作業がしやすくなります。



結束バンドの余剰部分をカットする際は、切り残したり、斜めにカットしないようご注意ください。
切り残しの先端がとがっていると危険です。



ケーブルクリップ



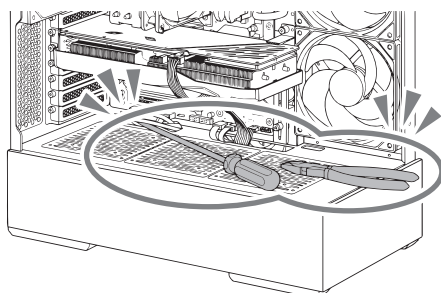
注意

ビニールタイ

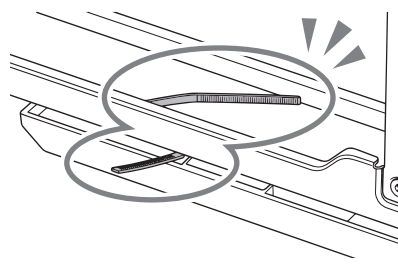


出荷時に使われているビニールタイは再利用せず、必ず付属の「結束バンド」をお使いください。ビニールタイの切り口が、PCパーツのショートにつながります。結束バンドの数や長さが足りない場合は、合うものを別途ご用意ください。

全パネルを閉じる前に...



忘れ物注意! (工具類、ネジ類)



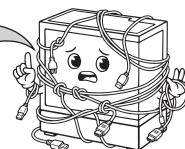
切りくず注意!

動画de解説

このページの説明を動画でご覧になれます。



内部配線の整理(ケーブルマネージメント)が悪くと、本体内部の空気の流れ(エアフロー)が悪くなり、温度が上がって各PCパーツの性能を十分に発揮できないよ!
また配線がキレイだと、パーツ交換もスムーズにできるよ!

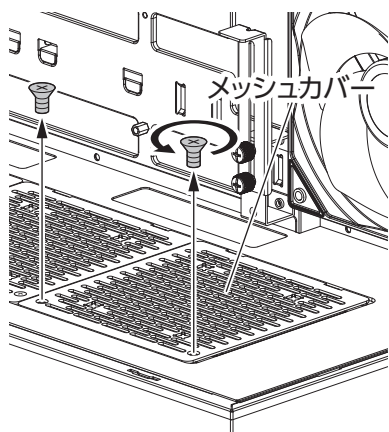




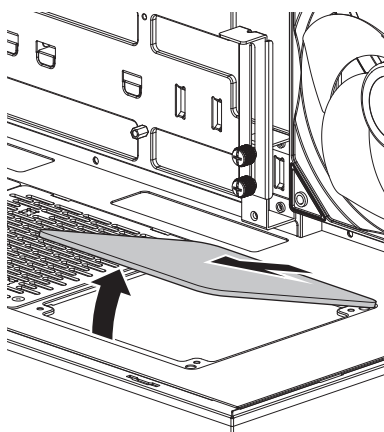
2.5インチHDD/SSDを増設する

デバイスラック、2.5インチ用プレート(P.18、19)のほかに、本体下段のメッシュカバーにも2.5インチHDD/SSDを最大3台まで増設することができます。

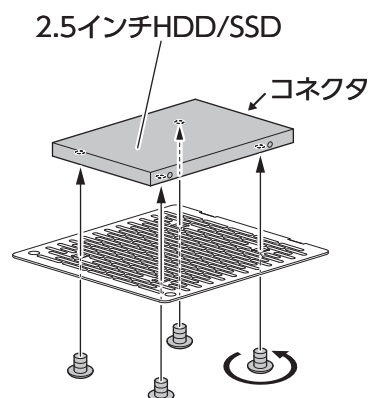
(1)メッシュカバーを固定している2本のネジを外します。



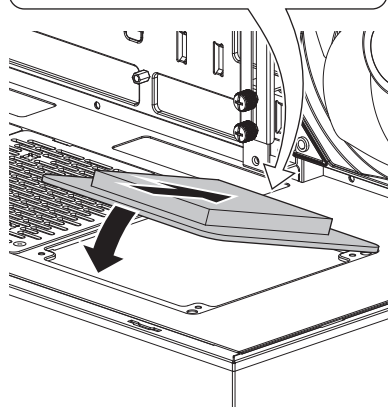
(2)手前側を上に向けて開き、引き抜くようにしてメッシュカバーを取り外します。



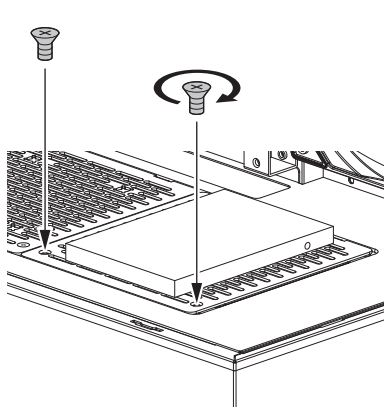
(3)外したメッシュカバーの上面に2.5インチHDD/SSDを取り付めます。
※取り付け用のネジは別途ご用ください。



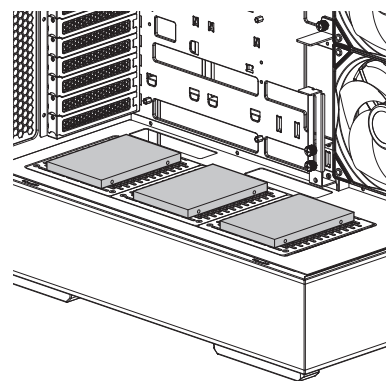
(4)メッシュカバー奥のツメを2箇所差し込み、そのまま下向きにかぶせます。



(5)メッシュカバーを2本のネジで固定します。



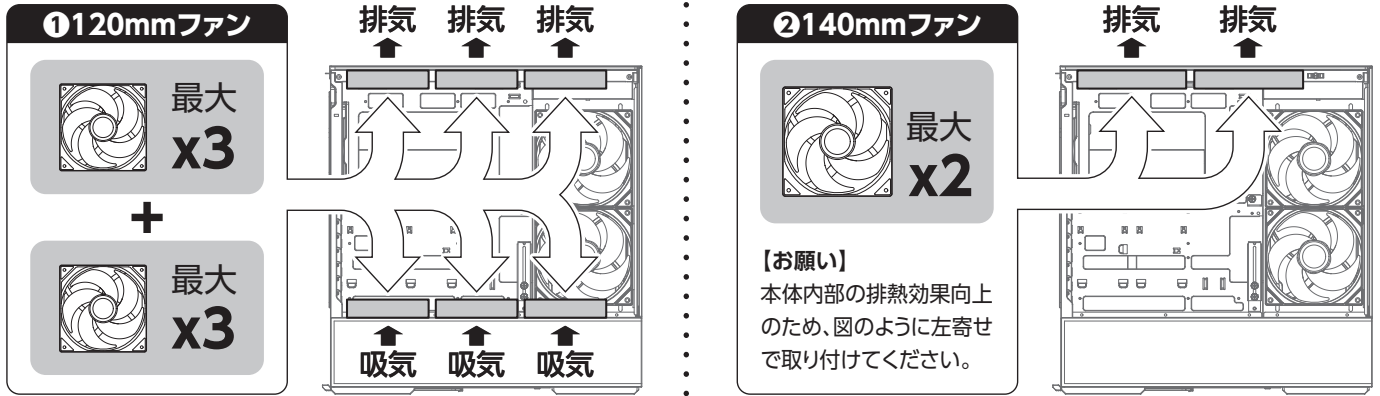
★同じ作業で最大3台の2.5インチHDD/SSDを増設できます。



(6)各ケーブルを接続します。(→P.22)

冷却ファンを増設する

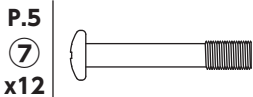
本体に取り付け済みの3台の冷却ファンのほかに、本体内部に冷却ファンを増設することができます。
取り付けできる場所とファンの組み合わせは次の通りです。※取り付ける向き(排気/吸気方向)に注意ください。



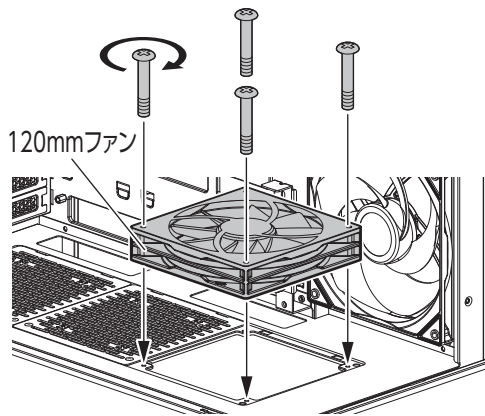
①120mmファン その1

あらかじめP.26(1)(2)の手順で、メッシュカバーを取り外しておきます。
※メッシュカバーと2本のネジはセットにして保管してください。

使用ネジ

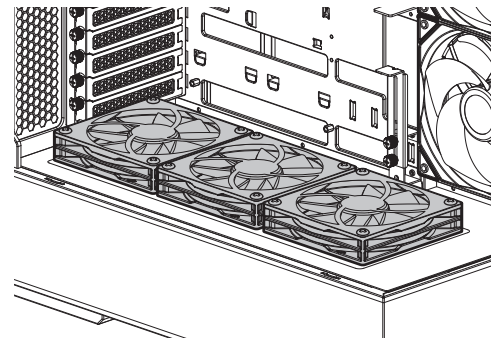


付属のネジを使って、上から120mmファンを取り付けます。



各ケーブルをマザーボードに接続します。(→P.23)

★同じ作業で最大3台の120mmファンを増設できます。



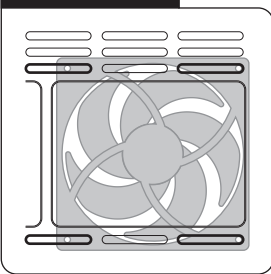
①120mmファン その2

(1)上面パネルを取り外します。
(2)内側から120mmファンを取り付けます。
※取り付け用のネジは別途ご用意ください。

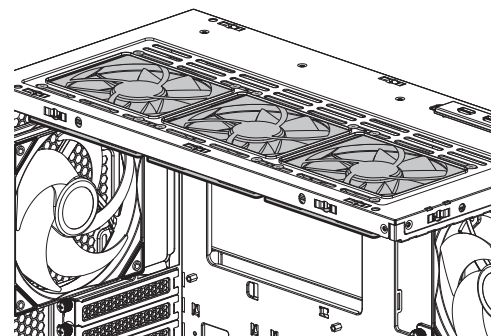
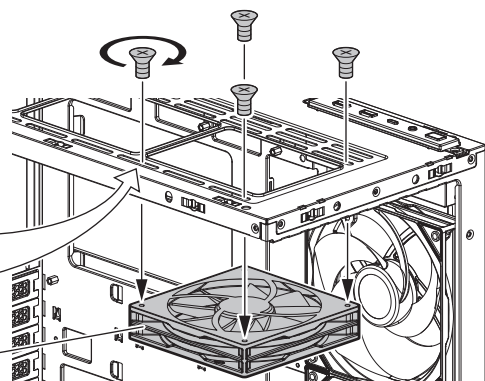
(3)各ケーブルをマザーボードに接続します。(→P.23)

★同じ作業で最大3台の120mmファンを増設できます。

ネジ穴位置



120mmファン





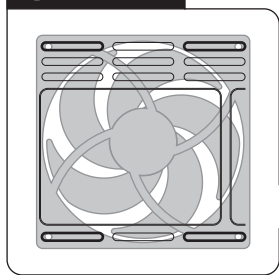
冷却ファンを増設する(つづき)

②140mmファン の場合

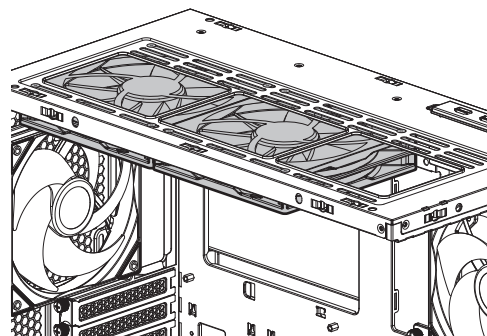
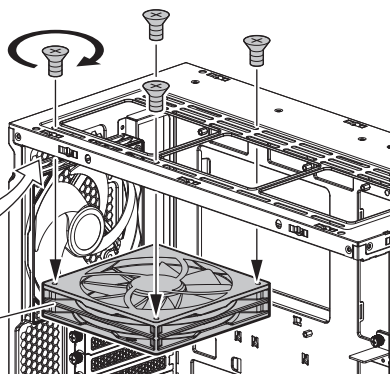
- (1) 上面パネルを取り外します。
- (2) 内側から140mmファンを取り付けます。
※取り付け用のネジは別途ご用意ください。

- (3) 各ケーブルをマザーボードに接続します。
(→P.23)
- ★同じ作業で最大2台の140mmファンを増設
できます。

ネジ穴位置



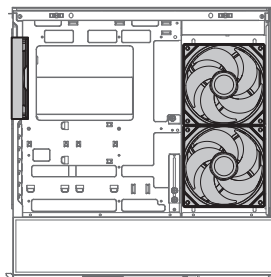
140mmファン



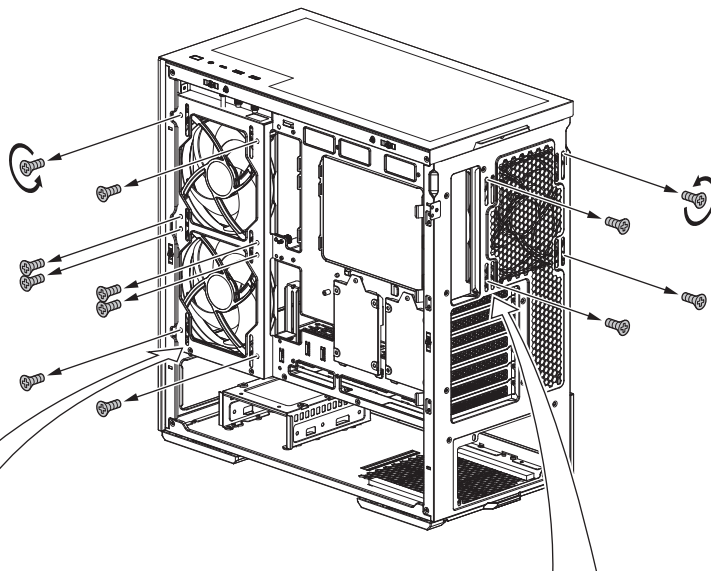
③本体取り付け済みファンの場合

本体に取り付け済みの3台の140mmファンは、
120mmファンにも交換できます。
このとき、側面用の2台は「リバースファン」をご用意
いただくと外観がキレイになります。

【背面】
140mm
↑
120mm

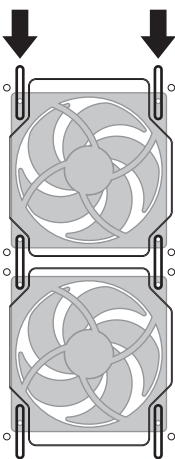


【側面】
140mm
(リバース)
↑
120mm
(リバース)

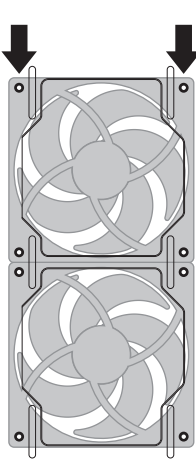


ネジ穴位置

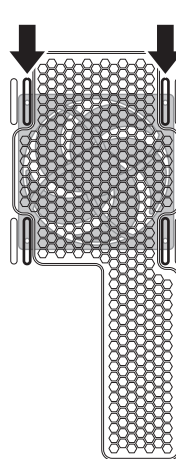
120mmファン



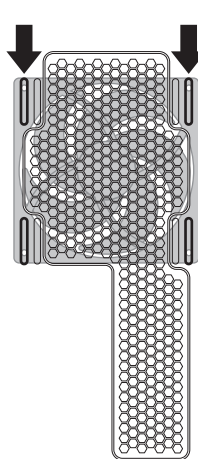
140mmファン



120mmファン



140mmファン

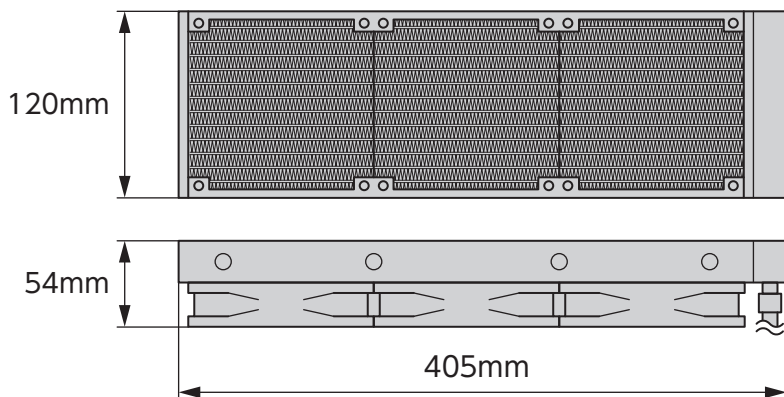


簡易水冷ファンを増設する

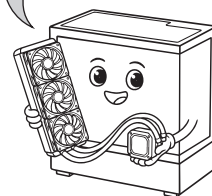
必要に応じて「簡易水冷ファン」を取り付けることができます。
マザーボードへの取り付け方法は、製品の取扱説明書をご確認ください。

- 1** 作業を行う前に、お手持ちの簡易水冷ファンのサイズが下図の寸法範囲内に収まっているかをご確認ください。
※寸法範囲に収まっている場合でも、ホースの長さによっては正面ガラスパネルやビデオカードをきちんと取り付けられない場合があります。
あらかじめご了承ください。

★弊社ではThermalright製「Frozen Notte 360 WHITE ARGB V2」にて検証しています。



簡易水冷ファンを取り付けたあとに正面・側面のガラスパネルが閉まるかどうかを確認しよう！
CPUファンへの干渉の有無やホースの取り回しスペースも要チェック！



- 2** 本製品に簡易水冷ファンを取り付けます。

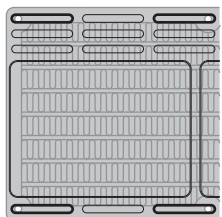
3連ファンの場合

※2連ファン、1連ファンでも、取り付け方は基本的に同じです。

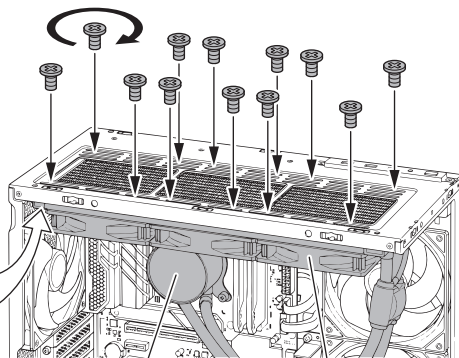
- (1) 上面パネルを取り外します。
(2) 本体の内側から簡易水冷ファンのラジエータを取り付けます。
このとき、水冷ファンのケーブルが背面を向くようにします。
※取り付け用のネジは、簡易水冷ファンに付属しているネジをご使用ください。

- (3) 各ケーブルをマザーボードに接続します。
(⇒P.23)

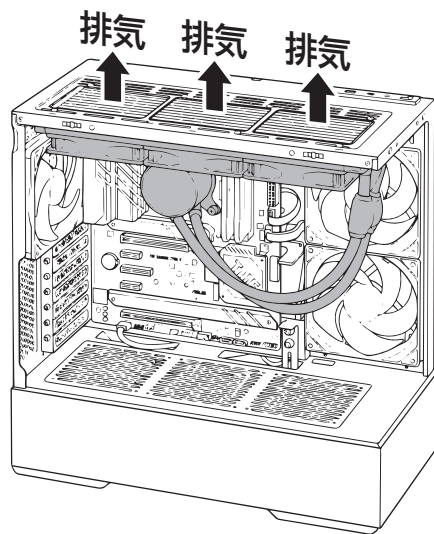
ネジ穴位置



製品によって、ネジ穴の位置や使用するネジの本数が異なる場合があります。



水冷ポンプ ラジエータ (水冷ファン)



注意

簡易水冷ファンのホースの取り回しにご注意ください。
必要以上に曲げたり、接続部分に強い力を加えるとホースを含むパーツが破損して中の冷却水が漏れることがあります。

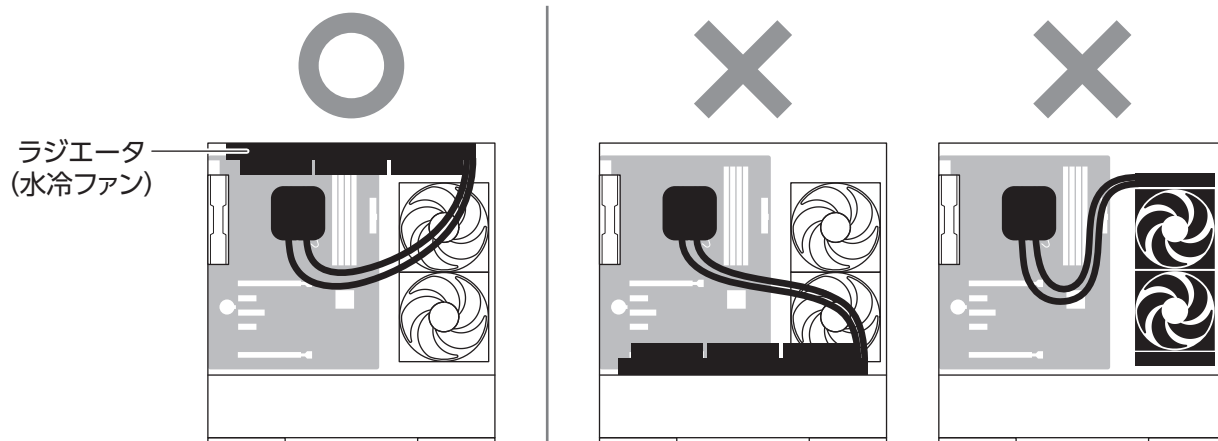


簡易水冷ファンを増設する(つづき)

ラジエータ取り付け位置のご注意

本製品に簡易水冷ファンを取り付ける場合は、ラジエータを**上面パネル側**に取り付けることを推奨します。ラジエータを下向きや縦向きに取り付けると、熱交換の効率低下、異音の発生や寿命に影響することがあるようです。詳しくは、お使いの簡易水冷ファンの取扱説明書をご参照ください。

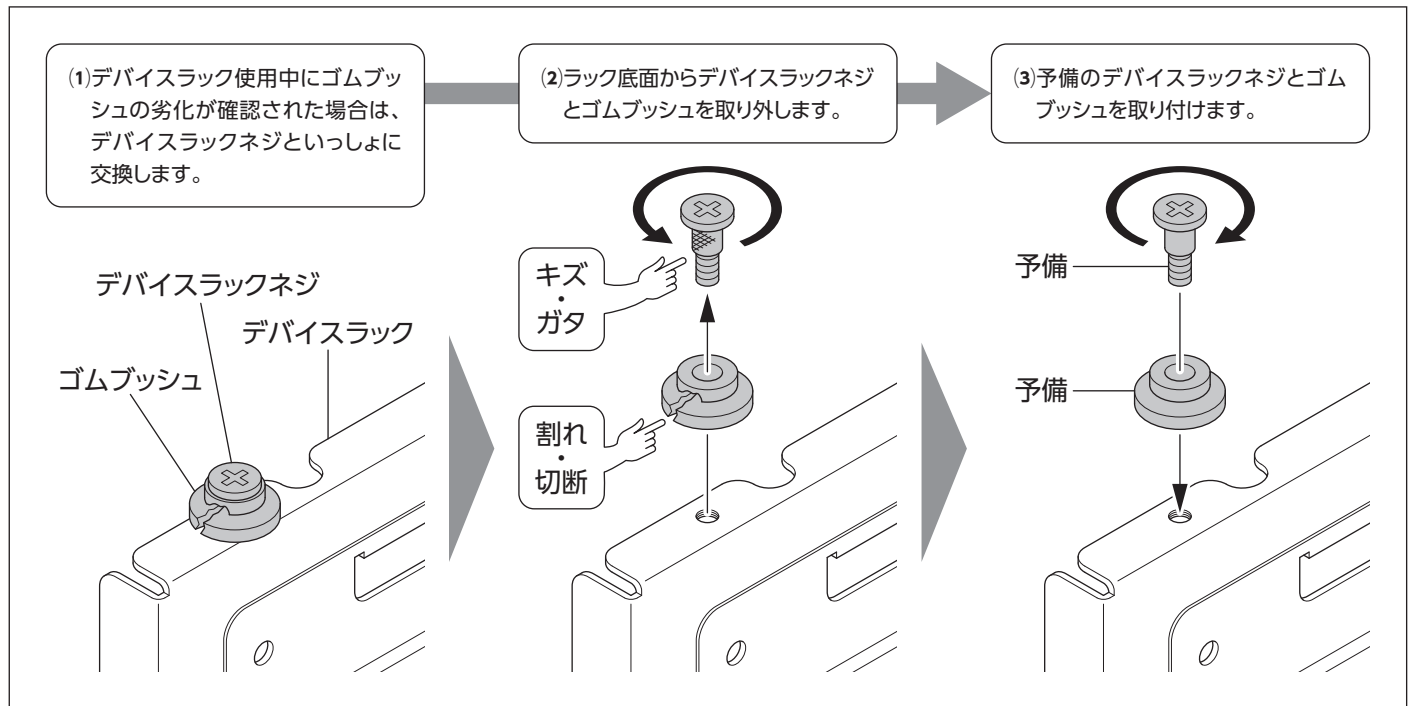
■ラジエータ取り付け位置





デバイスラックネジ+ゴムブッシュの交換方法

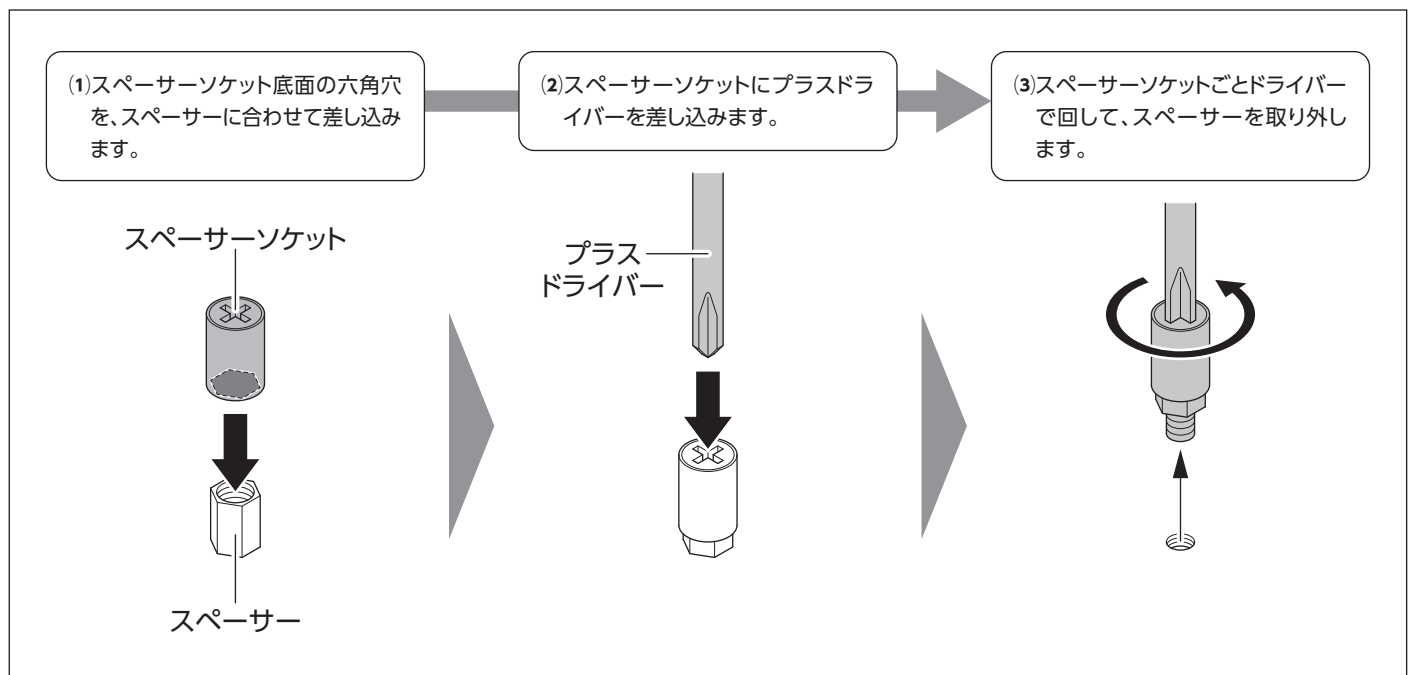
デバイスラック使用中にゴムブッシュが劣化してつぶれたり切れてしまったときは、予備のデバイスラックネジといっしょに交換してください。(ゴムブッシュとともに、ネジにも相応の劣化が見込まれるため。)



スペーサーの交換方法

次のような場合、付属のスペーサーソケットを使用してスペーサーを取り外してください。

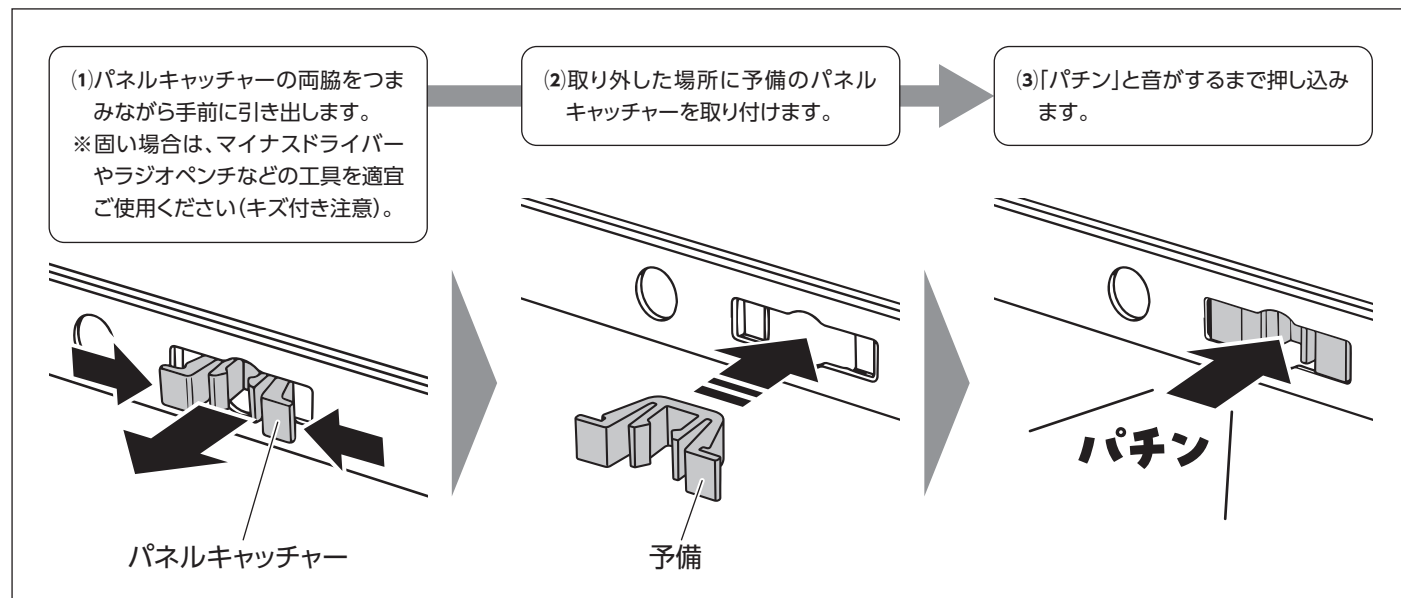
- スペーサーを違うネジ穴に移動したい
- 不要なスペーサーを取り外したい
- 劣化したスペーサーを予備のものと交換したい





パネルキャッチャーの交換方法

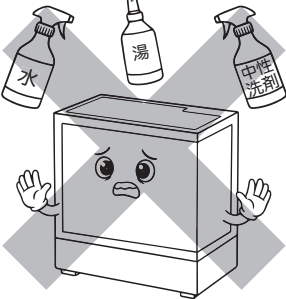
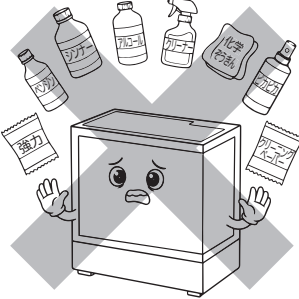
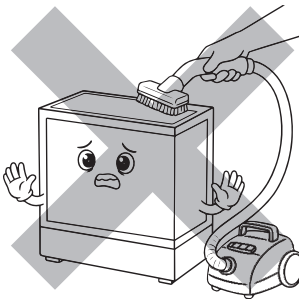
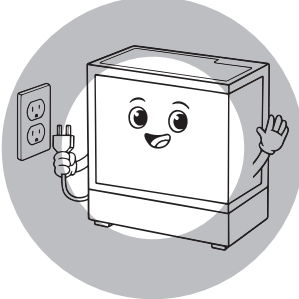
本製品使用中にパネルの固定がゆるくなったり、パネルキャッチャーのツメが折れてしまった場合は、予備のパネルキャッチャーと交換してください。



お手入れについて

お手入れを行うことで本製品を清潔に保つだけでなく、故障の発生を防ぐ効果もあります。下記注意を良くお読みのうえ、定期的なお手入れをお願いいたします。

【清掃前にお読みください】

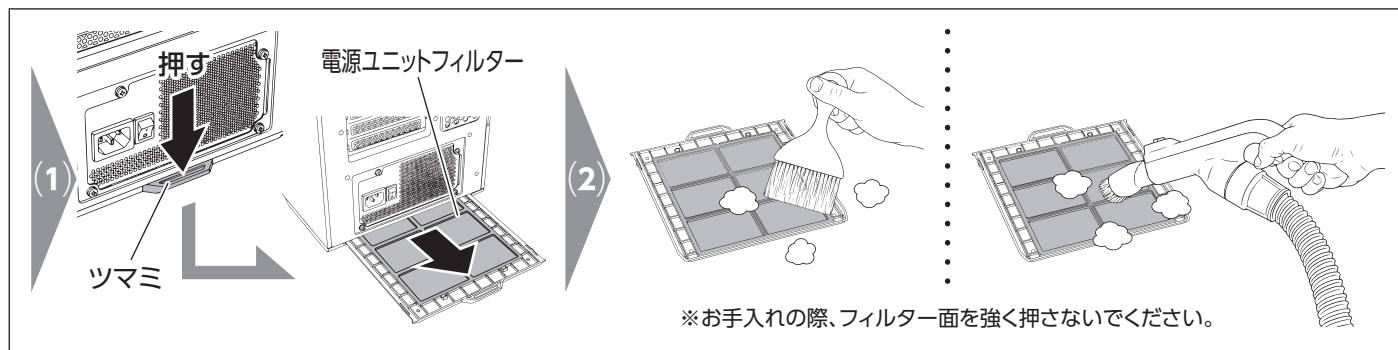
<p>本体に水、ぬるま湯、中性洗剤等の液体をスプレー類で直接吹きかけないでください。</p>	<p>ベンジン、シンナー、アルコール、化学ぞうきん、クリーナー、クリーニングペーパー等を使わないでください。 変質やひび割れ、故障の原因になります。</p>	<p>本体外装のほこりや汚れの除去に掃除機を使わないでください。 静電気などで故障するおそれがあります。</p>	<p>清掃の際は本製品の電源を切り、電源ケーブルを外してください。</p>
			

【本体外装の清掃方法】

- ブローア等で表面のほこりを除去したあと、マイクロファイバーなどのクリーニングクロス、または、やわらかいきれいな布で軽くふいてください。
- 汚れがひどい場合は、中性洗剤を200倍程度に薄めたぬるま湯に浸したクリーニングクロスを固く絞り拭きとってください。水滴が内部に入ると故障の原因となります。
その後、やわらかい乾いた布で乾拭きし、じゅうぶんに乾燥させてください。
- ケース内部にほこりが溜まった場合はブローア等で外に排出してください。

【電源ユニットフィルターの清掃方法】

- (1)電源ユニットフィルターのつまみを軽く押しながら、そのまま手前に引き出して本体から取り外します。
- (2)フィルター全体に付いたほこりを掃除用のブラシ等で除去します。
ほこりが多かったりゴミが詰まっている場合は、掃除機で吸い込んでください。



トラブルシューティング

パネル

電源ユニット

マザーボード

ストレージ

ビデオカード

配線接続・結束

PCパーツの増設

取付時

症状	処置
マザーボードのネジがきつくて回せない。	取付ネジを間違えていないかをご確認ください。(→P.5) マザーボードの固定ネジには、ミリネジ(ネジ山の間隔が短いタイプ)を使用します。 また、スペーサーの位置やマザーボードの位置がずれていないかもご確認ください。
側面スチールパネル(マザーボードの裏側)が閉まりづらい。 閉めても外れてしまう。	背面配線スペースでケーブルが重なりすぎていないか確認してください。 配線を平らにし、ケーブル自体に負荷がかからないように整えてください。
電源ケーブルや電源スイッチケーブルが届かなくて配線できない。	取り回しの方向を変えて様子を見てください。 どうしても届かない場合は、市販の延長ケーブル等のご購入をご検討ください。
冷却ファンのアドレスブルRGB電源のコネクタが接続できない。	本製品のアドレスブルRGB電源は、3ピン5Vタイプとなります。 マザーボードのコネクタが4ピンの場合、12Vとなり、本製品のファンは接続できません。 この場合、マザーボードに3ピン5Vのコネクタが他にないか探してください。
冷却ファンの電源コネクタを接続しようとしたら、マザーボードに3ピンのコネクタしかない。	ファンコネクタの切りかけの位置にあわせて「3ピン」を接続することで動作します。 ただし、3ピンの場合、電圧を制御してファンの回転を変化させることになり ますので、回転数が低めに設定すると、ファンが回転しない場合があります。 この場合、正しく回転するように電圧を調整してご使用ください。
冷却ファンの電源コネクタやアドレスブルRGB電源のコネクタが足りず、全部のファンが接続できない。	本製品添付のファンは中継用のコネクタがついているので、オス/メスを連結して接続を行ってください。 ただし、連結した場合、個別での発光制御や回転制御はできなくなります。
電源は入るが、画面に何も表示されない。	各部品やケーブルの配線をご確認ください。 マザーボードによっては、起動時の状態を確認する機能が付いている場合があります。 (POST、Q-LED、Post Status Checker、EZ Debug LED、ステータスLED等、マザーボードによって名称が異なります。) これらの表示から、何に異常があるのかを確認することで異常個所の絞り込みを行うことができます。 また、モニターと接続するHDMIコネクタがマザーボードとビデオカードなど、複数の箇所に接続できる場合があります。 複数ある場合は、別のコネクタに差し替えて様子を見てください。
●取り付けたビデオカードを取り外そうとした が取り外せない。 ●ロック解除の部品に手が届かず取り外せない。	ビデオカードを取り外すには、スロット端子の横付近にあるロック解除用のレバー等を動かさないと外れない構造になっています。 レバー等に手が届かない場合、手に当たってしまうPCパーツを取り外してからビデオカードを取り外す必要があります。 ※故障の原因となりますので、マイナスドライバー等の先端でロック解除用の部品を動かさないでください。

症状

処置

電源投入時

電源が入らない。
電源が入ってもすぐに電源が落ちてしまう。

【ケース①】フロントパネルのコネクタの接続ミス

電源スイッチを別の部分に接続していないかをご確認ください。

【ケース②】電源ケーブルの配線ミス

電源ケーブルの取り付けや、向きが合っているかをご確認ください。
また、電源ユニットにスイッチがついている場合、一側(ON側)に倒れているかをご確認ください。

【ケース③】マザーボード等のショート(短絡)

マザーボードの一部に金属部分が当たってショートしている可能性があります。
電源ケーブル等のコネクタがマザーボード等に当たっていないかをご確認ください。
また、不要なスペーサーがマザーボード裏面と接触してショートしていないかをご確認ください。

冷却ファンのトラブル

ケースファンが回転しない。

ファンの電源コネクタがPCに接続されているかをご確認ください。
また、PCのBIOSのファンコントロール設定が回転を止める設定になっていないかをご確認ください。

ファンが発光しない。

アドレスブルRGB電源のコネクタがPCに接続されているかをご確認ください。
また、PCのファンコントロールのソフトで消灯になっていないかをご確認ください。

ファンから異音がある。

ファンにケーブル等が当たっていないか、ファンの固定ネジが緩んでいないかをご確認ください。

その他

Windowsは起動するが、使用中たまにフリーズすることがある。

時々発生するトラブルは、原因の絞り込みが非常に困難です。
CPUやビデオカード、ストレージなど、それぞれのPCパーツのみに高い負荷を与える「ベンチマーク」などを動作させて、エラーの原因となる部位を絞り込んでください。
絞り込みができれば、そのPCパーツの取り付け等をご確認ください。

FAQ(よくある質問とその回答)

	質 問	回 答
製品の組み込みについて	マザーボードにCase Openという端子があったのですが接続できますか?	Case Openは盗難防止など、PCケースが開けられた際にシステムに信号を送るための機能になります。 本製品にはCase Openのスイッチが無いため、対応しておりません。 何も接続せずにご使用ください。
	完全水冷で自作したいと考えています。水冷用のパイプを通すことは可能ですか?	本製品には水冷用のパイプ穴は設けられていません。 空冷または簡易水冷ユニットをお使いください。
各製品の互換性について	搭載できるグラフィックボード(ビデオカード)の最大サイズは?	長さ420mm、高さ185mmまでのビデオカードを取り付けできます。 (→P.20) ただし、ビデオカードの寸法の測り方がメーカーによって異なる場合がありますのでご注意ください。 また、ビデオカードの電源コネクタの配線スペースにもご注意ください。
	CPUクーラーの最大サイズは?	高さ180mmまでのCPUクーラーが取り付けできます。 大きいCPUクーラーの場合、周りのPCパーツへの干渉の可能性を考慮したり、各PCパーツの取り付け順序が変わる場合がありますのでご注意ください。
	簡易水冷の最大サイズは?	本体の内側上面に長さ420mm(背面ファンに干渉する場合は410mmまで)、ラジエータ厚さ30mm以下までの取り付けスペースがあります。(→P.29) ただし、ホース・電源ケーブルの取り回しがビデオカード等に干渉する可能性もありますので、サイズをよく確認してからご購入ください。
	E-ATXマザーボードは取り付けられますか?	対応していません。 Mini-ITX、Micro-ATX、ATXの3種が対応となります。
	電源ユニットのサイズは?	背面からHDD等を入れるデバイスラックまでは280mm程度の空間があります。 ただし、ケーブル等の取り回しに干渉する可能性もありますので、サイズをよく確認してからご購入ください。
	ファンはいくつまで追加できますか?	本体下段に120mmファン(厚さ25mmのもの)が3台、本体上面に120mmファンが3台または140mmファンを2台搭載できます。 簡易水冷等を付ける場合は数が変動しますのでご注意ください。
	グラフィックボードの縦置き(垂直設置)には対応していますか?	対応していません。
メンテナンス	ホコリが溜まった場合はどう掃除すればいいですか?	電源ユニットフィルターの清掃方法についてはP.33をご参照ください。 本体下部のメッシュ部分にホコリが溜まった場合、市販のプロアー等で吹き飛ばしてください。 また本製品に直接掃除機を当てないでください。掃除機から発生する静電気等の影響で、内部PCパーツの故障の原因になります。
その他	CPUのクーラーは空冷と水冷、どちらが良いのですか?	一般的には、水冷の方が負荷時の冷却性能に優れるといった傾向にあるようです。 ただし水冷クーラーは高額である場合が多いことと、液漏れなどの危険性があることがデメリットとなります。

サポートのご案内

■販売・サポート

株式会社 センチュリー

■サポートセンター

〒277-0872 千葉県柏市十余二249-329

受付番号

☎ 04-7142-7533

(平日 10～13時、14～17時)

■Web

<https://www.century.co.jp>

■お問い合わせ

<https://www.century.co.jp/contact.html>

～お願い～

修理をご依頼の場合、必ず事前にサポートセンターにて受付を行ってから発送をお願いいたします。

サポートセンターへご相談の際は…

「商品名は、

ラセンピーシーケース

しろくろ
アクセス(白/黒)です。」

と言ってネ!



うさぽー

商品の性質上、すべての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。

— 本書に関するご注意 —

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
4. 適用した結果の影響については、【3.】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本書の内容の抜粋または全てを弊社に無断で複製、転載、送信、配布、翻訳、改変、引用することを禁止します。
6. 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンチュリーおよびセンチュリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

※記載の各会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

※The warranty for this product is valid only in Japan. Only Japanese-language drivers and manuals are included. It does not support other language OS. Support desk is only available in Japanese. Please note that maintenance and repair services are not warranted outside Japan. All listed information are all trademarks or registered trademarks of the respective companies.

保証書

— 保証規定 —

1. 弊社の保証は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理または交換をお約束するものです。
したがって、本保証によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2. 本製品は、本保証書に明記された保証期間を設けております。
販売店より発行された購入証明書に記載された日付より保証期間が発生するものとします。
本書の注意書きにしたがって、正常な使用状態で万一保証期間内に故障した場合には無償で修理いたします。
(修理が不可能な場合は在庫などの関係上、相当品をもって換えさせていただく場合がございます。)
3. 購入証明書は、販売店の発行した弊社製品の型番と購入日が記載された領収書や納品書を指します。
通販等で領収書や納品書が無い場合はご購入履歴を印刷した物を添付してください。
4. 保証期間中であっても以下のような場合には保証いたしかねます。
 - a. 購入日を証明する資料を提示されない場合。
 - b. 購入日を証明する資料が改ざんされた疑いのある場合。
 - c. 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
 - d. 事故等の外部要因に起因する故障および損傷。
 - e. お買い上げ後の輸送、移動等における落下・衝撃等、お取扱いが適当でないために生じた故障および損傷。
 - f. 接続している他の機器に起因して生じた本製品の故障および損傷。
 - g. 特定機種でのみ発生する動作不良等。(相性の問題)
 - h. 説明書に記載の使用方法、または注意に反するお取扱いによって生じた故障および損傷。
 - i. 改造またはご使用の責任に帰すると認められる故障および損傷。
 - j. 正常なご使用において消耗品が自然消耗、摩耗等した場合。
 - k. オークション等を含む個人間売買や中古販売、または譲渡によって製品を購入した場合。
5. 保証期間内外を問わず、すべてセンドバックによる修理対応とさせていただきます。尚、保証期間内の送料は、発送時はおお客様のご負担、修理完了後の製品の返送時は弊社の負担とさせていただきます。
保証期間外の送料は、往復ともお客様負担とさせていただきます。
6. 本保証、または他のいかなる黙示または明示の保証のもとでも、弊社の責任は上記に規定する修理に限られます。いかなる保証違反についても、これらの救済を唯一の救済手段といたします。弊社は、保証違反または他のいかなる法理論から生じる直接的、特別、付随的または間接的な損害について責任を負いかねます。
弊社が責任を負いかねるこれらのものには、逸失利益、ダウンタイム(機能停止期間)、顧客からの信用、設備および財産への損害または交換、およびお客様の製品を含むシステムに蓄積されていた、または共に使用されたいかなるプログラムまたはデータの修復、再プログラミング、複製にかかる費用等が含まれます。
7. 修理期間中の保証に関しては、弊社到着日から返送日までの日数分、保証期間を延長させていただきます。延長保証を受ける際は、弊社からの修理完了報告書を添付していただく必要があります。
8. 保証内、有償に関わらず、交換した不良部品の所有権は、当社に帰属するものとします。交換した不良部品の返却は致しかねますのでご了承ください。
また、いかなる場合も交換部品の先出し出荷及び販売は行いません。
9. 製品の保守部品の保管期間は生産完了後3年間とさせていただきます。
その後の修理等に関するご要望にはお応えいたしかねる場合がございます。
10. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
11. 本保証は日本国内でのみ有効とさせていただきます。
日本国外への保守対応、修理対応は行いません。
This warranty is valid only in Japan.

保証期間

ご購入日から **1年間**

※中古販売/オークション等のご購入を除きます。

※保証期間内での修理をご希望の際は、ご購入時のレシート等をご提示いただけます。

紛失しないように大切に保管してください。



RACEN



RACEN URL

RACEN ATX対応ピラーレスPCケース AQCESS

CRC-PCASE01BK / CRC-PCASE01WH

取付説明書

CRC-PCASE01_m03_20260507